

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 総務課		重点項目	・産業経済局の運営								
	課長名	黒岩 亮		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	2,533,330 千円	目安の金額	課長	1	人	
						令和3年度当初予算額(B)	2,519,494 千円		人件費	係長	2	人
						増減額(A-B)	13,836 千円			61,500 千円	職員	4

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				職員給	産業経済局の職員給	—	2,124,377	2,106,369	-18,008
2				産業振興一般事務(総務課)	一般事務費	—	39,214	37,094	-2,120
3				繰出金	一般会計から特別会計(卸売市場、渡船、土地取得)への繰出金	—	355,903	389,867	33,964

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 渡船事業所		重点項目	・安全で安定した運航を維持するため、渡船運航、施設管理全般に関する必要な経費を計上する。							
	課長名	新田 龍二		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	430,207 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
						令和3年度当初予算額(B)	397,400 千円		係長	1 人	
						増減額(A-B)	32,807 千円		職員	8 人	
				81,500 千円							

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				小倉棧橋改修事業	老朽化した小倉棧橋の改修	・補修工事の実施設計と係留ローラーの取替工事を行う。	1,780	13,000	11,220
2				渡船管理業務	若戸航路、小倉航路の渡船管理に係る経費	—	13,420	12,925	-495
3				渡船運航業務	若戸航路、小倉航路の渡船運航に係る経費	—	296,247	297,000	753
4				職員費(渡船)	渡船事業所職員10名分を計上	—	81,632	77,408	-4,224
5		○		<新>馬島待合所改修事業	馬島待合所の改修	・老朽化したトイレ等施設の改修。		3,700	3,700
6		○		<新>若戸航路新船建造概算設計等業務委託	若戸航路の新船建造に向けての検討	・市営渡船若戸航路の新船建造に向けての検討。		800	800
7		○		<新>若戸航路運航等業務民間委託事業	平成17年度から委託中の運航等業務について、令和5年度から3か年の委託の契約行為等準備を含む債務負担行為	—		0	0
8				繰出金	公債償還への繰出金	—	4,121	25,174	21,053
9				予備費	予備費	—	200	200	0

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 緊急経済対策室		重点項目	・新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、本市経済の活性化を図っていく。					
	課長名	大庭 英明		コスト	事業費	人件費	目安の金額	課長 1 人	係長 2 人
		令和4年度当初予算額(A)	322,234 千円						
		令和3年度当初予算額(B)	85,178 千円						
		増減額(A-B)	237,056 千円			46,500 千円			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1		○		<新>コロナ禍からの再生に向けた機動的な情報発信事業	コロナ禍からの再生に向けて、市内事業者をきめ細やかにフォローするため、タイムリーかつ迅速に経済支援策を周知するもの	・折込チラシ、新聞広告等を活用して、タイムリーかつ迅速に経済支援策を周知する。		3,000	3,000
2				商工貿易会館改修事業	商工貿易会館に係る改修補修	・老朽化している外壁、屋根、トイレ等の改修工事を行う。	5,200	239,600	234,400
3				商工貿易会館運営(指定管理者管理業務)	商工貿易会館に係る指定管理業務	—	73,099	73,099	0
4				産業振興一般事務(緊急経済対策室)	緊急経済対策室における一般事務経費	—	6,879	6,535	-344

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 雇用政策課		重点項目 ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、雇用環境の変化に対応した支援を行うとともに、市内外からの新たな人材確保や人手不足業種への労働移動を促進することで、本市経済の活性化を図る。 ・市内企業における雇用維持の下支えと再就職にチャレンジする求職者等へのきめ細やかな支援 ・採用・就職活動のWEB化などに対応した新規卒者等の市内就職支援 ・市内企業のWEB等を活用した採用力強化と第二新卒等、市内外の多様な人材確保支援 ・高齢者や外国人等の人材を活かすための支援							
	課長名	小田 聡		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	390,817 千円	人件費	目安の金額	課長 2 人
						令和3年度当初予算額(B)	368,977 千円		係長 6 人	
						増減額(A-B)	21,840 千円		職員 9 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○		○	コロナ禍における新卒者地元就職強化事業	学生の就職支援と市内企業の採用支援を目的に、WEBを活用した会社説明会や業界研究会、学生と企業との交流会等を開催するとともに、未内定学生への個別丁寧な支援を行うことで、市内就職を促進する。	—	14,000		-14,000
2	○			九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業	市内をはじめ、九州・山ロー円の学生の就職支援と市内企業の採用支援を目的に、合同会社説明会や業界研究イベント、学生と企業が出会う機会を従来の対面型に加えて、オンラインで提供する。	・「コロナ禍における新卒者地元就職強化事業」と「九州・山ロー円の学生就職応援プロジェクト」を統合。就職関係イベントにおいて、Webの活用を強化し、市内外の学生の市内就職を促進する。		14,000	14,000
3	○			人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業	市内3か所の就業支援施設のカウンセラーを増員し、企業に人材採用を提案する支援員を配置する。また、短期の資格取得や企業とのマッチングをトータルでサポートし、人手不足業種への円滑な労働移動を促進することで、失業者や就職氷河期世代の早期再就職を支援する。	・早期の再就職・正規就職を支援するために、製造、建設、介護などの人手不足業種へチャレンジする求職者について、就職に有利となる短期の資格取得支援を拡充し、異業種へのスムーズな労働移動を支援する。	37,000	35,000	-2,000
4	○			外国人材就業サポート事業	「外国人材就業サポートセンター」を中心に、アフターコロナを見据えつつ、市内企業への留学生等の外国人材の受け入れ促進を目的とした支援事業を実施する。	・外国人材の雇用を考える企業の発掘や市内企業への就職を目指す留学生を抱える市内大学等でのガイダンスやマッチング登録会を実施する。	13,939	13,200	-739
5		○		<新>アフターコロナの人材確保！外国人材活用促進事業	コロナ禍での外国人材の入国制限による製造業現場等の人材不足に対応するため、外国人材の雇用を考えている市内企業の実態把握や、外国人の受け入れ支援機関と市内企業との相談会を行う。	・外国人材の雇用を考えている市内企業の実態把握のための調査を実施する。 ・技能実習生や特定技能の受け入れ支援を目的とした管理団体・登録支援機関と市内企業との相談会を行う。		3,000	3,000
6	○			シニアの働きやすいお仕事開拓事業	シニア層が働きやすい多様な求人を開拓し、雇用のミスマッチを解消することで、高齢者の就業率向上を図る。	・引き続き、シニアのニーズにあった短時間勤務や軽易作業の切り出しなどを企業に提案するとともに、高齢者就業支援センター登録者とのマッチングを図っていく。	4,632	4,632	0
7	○		○	九州・山ロー円の学生就職応援プロジェクト	九州・山ロー円の大学・高専・工業高校等と連携し、本市での就職や暮らしに関する情報を発信するとともに、市内企業やまちの魅力を体感する機会を創出し、市内就職や市内還流を図る。	—	4,000		-4,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8	○			DX時代に対応した第二新卒等採用力強化事業	DX時代の到来を踏まえ、市内企業を対象に、デジタル情報やWEBを活用した人材採用力を強化することで、継続的に全国から優秀な人材を獲得できる地域経済力を醸成する。さらに、全国の転職希望者が集まる民間転職サイトへの求人掲載を支援することで、U・Iターン転職者の増加を図るとともに、市内転職希望者の市外流出を抑制する。	・新型コロナウイルス感染症拡大を機に、地方移住希望者が増加したことや、急変した就活様式に対応した取組が必要であるため、転職に向けたアクションを起こしている層を新規登録者として積極的に獲得するとともに、市内企業のWEBを活用した人材採用を支援することで、市内転職者の増加を図る。 ・市内企業の人材採用力を強化するため、新たに「人材採用力育成スクール」を実施することで企業への支援を拡充し、中長期的なU・Iターン就職者の増加を図る。	12,000	20,000	8,000
9	○			北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト	本市へのU・Iターン就職希望者に対する地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を総合的に実施する。また、若年人材等の地元への還流を促進するため、学生等に対するU・Iターン就職活動支援の拡充を図る。	・新型コロナウイルス感染症拡大による地方移住希望者の増加を見据え、令和4年度も引き続きU・Iターン応援オフィスにおける伴走型マッチング支援を行う。 ・全世代の優秀な人材と市内企業のマッチングを促進するために、民間企業と連携した多様な求人開拓や、人材採用の提案を行うなど、丁寧な支援を拡充する。	5,519	5,519	0
10	○			北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト（債務負担）			18,000	18,000	0
11	○			インターンシップ等推進事業	市内就職を希望する学生と企業とのマッチングを体系的に推進することで、若者の地元就職及び地元企業の人材確保につなげる。	・地元就職促進のため、短期長期のインターンシップに取り組むほか、地元企業の若手社員と学生の交流会を実施するなど、企業のインターンシッププログラムの魅力や、地元企業の認知度の向上を図る。	10,000	9,000	-1,000
12				北九州ゆめみらいワーク事業	小・中学生、高校生や大学生等を対象に、地元企業の仕事内容や地元大学の研究等について、直接聞き、体験できるイベントを開催し、企業や大学の魅力等を伝えることで、職業観を醸成し、各自に合った職業選択につなげる。	・団体来場支援として、中学生の団体来場にかかる体制を強化する。 ・イベント内容等の見直しを行い、充実を図る。	29,000	29,000	0
13	○			セカンドキャリア支援プロジェクト	U・Iターン求人支援員が、U・Iターン希望者を対象として市内企業を訪問し、潜在的ニーズを発掘するなど機能を強化する。	・新型コロナウイルス感染症の影響で、シニア層のU・Iターン希望者も減少しており、既存の登録者のマッチングに注力するとともに、新規登録者獲得に向けた広報に取り組む。	7,000	7,000	0
14	○			若者ワークプラザ北九州運営事業	若年者の就業支援の拠点として「若者ワークプラザ北九州」及び「若者ワークプラザ北九州・黒崎」において、就業相談、セミナー、職業紹介等を実施し、若年者の就業を促進する。	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、本市の雇用情勢は厳しい状況にあり、未就職・失業状態が長期化した場合、更に就職が困難な状態となるため、人手不足業種への就職を丁寧に支援することで、若者の早期就職に繋げていく。	1,190	1,190	0
15	○			若者ワークプラザ北九州運営事業（債務負担）			62,500	62,495	-5
16				若者ワークプラザ北九州求人求職者情報システム運用保守事業	若者ワークプラザ北九州で使用する情報システムの運用保守を行う。	・新型コロナウイルス感染症の影響によって、オンラインによる支援ニーズが急増していることを踏まえ、パソコンや通信設備の性能を見直すことで、円滑なオンラインカウンセリング等ができる環境を整備する。	1,645	3,200	1,555
17				シルバー人材センター運営補助	働く意欲のある高齢者に就業の機会を提供することを目的とした（公社）北九州市シルバー人材センターの運営補助を実施する。	—	47,500	47,500	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
18				KIPRO賃借料（若者ワークプラザ、U・Iターンオフィス）	AIMビルに開設している「若者ワークプラザ北九州」および「北九州市U・Iターン応援オフィス」の賃借料（固定経費）	—	11,525	11,525	0
19				若者ワークプラザ（光熱水費等）	「若者ワークプラザ北九州」および「若者ワークプラザ北九州・黒崎」両施設の賃借料以外の固定経費（光熱水費、管理費、清掃費等）	—	6,192	6,192	0
20				若年者正規雇用促進事業	市内企業を訪問して、国・県等が実施している正規雇用につながる助成制度やセミナー等の事業案内、企業における人材確保に関する課題・要望等の聞き取り、相談等に応じる。また、雇用情勢の改善により、人手不足となっている地元企業の人材確保を支援するため、市の就労支援施設に関する情報提供を行う。	—	3,700	4,000	300
21	○			合同会社説明会等開催事業	地元企業情報の提供・マッチングの機会の創出、地元企業の若年者採用支援を行い、市内外の学生の地元企業への就職と市内定住の促進を図る。	・合同会社説明会の開催等において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策やWEB実施に対応しながら、引き続き市内企業と求職者のマッチングの機会の創出を図る。	19,640	29,290	9,650
22	○			高齢者就業支援センター運営業務（債務負担）	高齢者就業支援センターを拠点として、高齢者に対し就業支援を実施する。また、就業に関連するセミナーを実施する。	・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、シニア・ハローワーク戸知等の関連機関と連携して、中高年齢者の就労を支援していく。	23,800	23,797	-3
23	○			中高年齢者雇用環境づくり事業	高齢者就業支援センターの固定経費（電話料、光熱水費、警備・清掃費等）、福岡県シルバー人材センター連合会、全国シルバー人材センター事業協会への負担金など。	・一括委託（高齢者就業支援センター、若者ワークプラザ、ウーマンワークカフェ）の強みを生かし、年齢や性別にかかわらず、切れ目のない支援体制を構築していく。	8,000	7,887	-113
24	○	○		<新>高齢者就業支援センター求職者情報管理システム運用保守業務	高齢者就業支援センターに求職者情報管理システムを導入する。	・新たに導入する求職者管理情報システムにより、市民サービスの向上と効率的な運用を図る。		1,300	1,300
25				安心して働ける労働環境づくり事業	安心して働ける労働環境を作るため、労働相談を行うほか、ガイドブックの配布等による広報・啓発を実施する。	—	10,962	11,021	59
26				労政一般（産業経済局）	一般事務費	—	9,063	13,899	4,836
27	○			北九州技能伝承推進事業	高度技能者を「北九州マイスター」や「北九州技の達人」に認定するとともに、その技能を継承するための活動を支援する。	・北九州ゆめみらいワーク等の他事業との連携や学校等への更なる周知により、マイスターや技の達人の認知度向上を目指す。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、マイスターの認定や技能伝承講座等の開催を行い、引き続き、技能伝承活動の推進を図る。	8,170	8,170	0
28		○		<新>協同労働支援事業	令和2年12月に「労働者協同組合法」が制定されたことにより、出資・意見反映・労働が一体となり、地域課題を解決するための非営利の法人を簡便に設立できる制度ができた。 令和4年10月に法律が施行されることから、制度の積極な活用に向けて、制度に関する周知等を行うもの。	・「労働者協同組合」制度の活用を図るため、制度の説明や協同労働に関する事例紹介など広報に取り組む。		1,000	1,000

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 スタートアップ推進課		重点項目	・スタートアップを発掘・育成するための支援体制を強化する。				
	課長名	鎌田 靖雄		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	315,015 千円	目安の金額
令和3年度当初予算額(B)			304,063 千円			人件費	係長	
				増減額 (A - B)	10,952 千円		79,000 千円	職員

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			スタートアップSDGsイノベーショントライアル事業	優れた目利き能力を有するベンチャーキャピタルと協働して、事業化から成長段階まで切れ目のない支援を行うことで、スタートアップ企業の成長を加速させ、市内に魅力ある雇用を創出する。	・目利き能力の優れた実績のあるベンチャーキャピタルの呼び込みを行うとともに、実証支援事業と事業化支援事業の双方の連携が取れる制度の構築を行うことで、スタートアップの成長確度を高めるとともに、市外からの有望なスタートアップ企業の集積と本市への定着を図る。 ・有望なスタートアップ企業を採択し、その件数を増やすことで、本市の産業の活性化と雇用の創出の加速を図る。	80,000	90,000	10,000
2				スタートアップエコシステム推進事業（創業支援）	民間主体で事業拡大を支援するグローバルアクセラレーションプログラムへの参画 法人化の手続きをワンストップでサポートする「開業ワンストップセンター」など、「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」としてスタートアップ企業の成長段階に応じた適切な支援を行う。	・開業ワンストップセンターについては、相談実績に応じて経費の見直しを行った。	8,000	5,000	-3,000
3				創業機運醸成事業	市内の創業機運醸成に係る各種イベントなどを実施する。	・スタートアップネットワークの会について、新型コロナウイルス感染症によりオンラインでのイベントが増加したため、使用料等の経費を削減した。	10,734	10,447	-287
4				保守部品の供給終了に伴うAIM防災システム更新工事	北九州テレワークセンターに防災システム（火災報知設備）を導入し、安全・安心な施設管理を行う。	—	1,053	1,053	0
5	○			北九州テレワークセンター管理運営事業	北九州テレワークセンターに係る指定管理業務	・指定管理者の提案書に基づき、一部経費について削減する。	119,947	117,965	-1,982
6				産業振興一般事務（スタートアップ推進課）	スタートアップ推進課における一般事務経費	・需用費、旅費等の見直しにより、一部経費について削減する。	5,799	3,240	-2,559
7				北九州輸入促進センター賃借料	北九州輸入促進センター賃借料・共益費	・AIMビルにKTIセンターを構成する3機関（スタートアップ推進課、北九州貿易協会、ジェトロ北九州）がテナントとして入居することで、地域企業の国際ビジネスの利便性を高める。	9,351	9,351	0
8	○			国際競争力強化支援事業	海外での販路開拓や委託生産など、国際ビジネスを支援し、地域企業の国際競争力の向上を図る。	・市内企業のニーズを踏まえた販路開拓の機会を提供し、国際ビジネス環境の変化に対応した商談機会の創出に努めるとともに、本市への進出に意欲的な外国企業に対して本市の投資環境をPRするなど、効果的な誘致活動を実施する。	13,048	13,048	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9				北九州市中小企業海外 展開支援助成金	海外市場調査や見本市出展などに対して一部助成する。	・新型コロナウイルスの感染減少を見込んで、市場調査や海外見本市出展、越境EC活用など、市内企業の海外展開に対する支援を強化する。	3,500	5,000	1,500
10				国際ビジネス拠点運営 事業	AIMビル内のKTIセンターの機能充実・強化を図る。	・北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター（KTIセンター）を継続して運営する。	52,499	53,239	740
11			○	公用車リース	車両リース代	—	132		-132
12			○	財産運用収入（地上権 契約）	浅野熱供給センター設置に伴う区分地上権の設定。	—	0		0
13		○		<新>スタートアップ・ トライアル採用支援事業	スタートアップ企業の事業拡大に向けた支援の一環として、市内外で活躍する優秀な技術者や経営人材などの採用について、スタートアップ企業の個別ニーズに応じた支援を実施。	・スタートアップ企業の事業拡大に向けた支援の一環として、人材採用支援を行う。		3,500	3,500
14		○		<新>次代をけん引！ 北九州の未来のスタート アップ育成事業	未来を担う起業家が育つ環境づくりを促進するため、市内小中学生を対象に将来の起業家の育成を目的として、社会課題の発見や解決アイデアの考え方、実現に向けたチャレンジ精神など、起業経験者から学べるワークショップを実施する。	・未来を担う起業家が育つ環境づくりを促進する。		3,000	3,000
15		○		<新>公用車リース	課の公用車についてリース契約を締結するもの	・令和3年度でリース契約が完了する公用車について、効率的な業務遂行のため、引き続きリース契約を締結する。		172	172

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 中小企業振興課		重点項目 ・中小企業振興条例において定められている中小企業の振興を総合的に推進する。 ・「小規模企業振興基本法」に基づき、小規模企業の支援体制を強化し、持続的発展を支援する。 ・中小企業の経営力強化及び技術力・販売力の向上を図る。									
	課長名	上野 信成		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	75,949,930 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和3年度当初予算額(B)	110,739,568 千円		係長	4	人	
						増減額(A-B)	-34,789,638 千円		職員	7	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1		○		<新>頑張る中小企業応援！お困りごとリサーチ・相談サポート事業	市内中小企業者が抱える経営力強化の課題やニーズを的確に把握するため、アンケート調査を実施するとともに、専門相談員による企業訪問や経営相談を強化し、経営上の課題を抱える個別企業へのきめ細かな支援体制の構築を図る。	・アフターコロナに向けた地域経済の復活のため、市内事業者の実態把握のための全数調査、年間を通じた訪問相談を実施する。		36,000	36,000
2		○		<新>新型コロナウイルス感染症に関する事業者総合相談窓口運営費	新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内中小事業者等に対して、「資金繰り相談」「雇用調整助成金の申請支援」「事業者向けの各種給付金の相談、電子申請のパソコン入力補助」等の支援を行うもの。	・アフターコロナに向けた地域経済の復活のため相談窓口を設置し、支援金の申請支援等を行う。		52,000	52,000
3				中小・小規模企業総合支援事業	「北九州市中小企業振興条例」を多くの企業や市民等に周知するとともに、中小・小規模企業の実態の把握とフォローアップ、中小企業団体等との意見交換など、条例の趣旨を実現するための事業を実施する。	・中小企業振興条例に定められた市の責務を果たすため、中小企業団体や学識経験者等の意見を聞きながら、施策に反映させる。	2,300	1,300	-1,000
4	○			事業承継・M&A促進化事業	事業承継の潜在ニーズの掘り起こしから相談、事業承継計画の策定など具体的な成果の創出までをトータルでサポートすることで、市内中小企業の円滑な事業承継を促進していく。	・後継者不在に加え、長引くコロナ禍による経済活動の低迷により企業の休廃業・解散件数は過去最多を記録し、今後さらに増加することが予想されている。 ・事業承継に関する相談体制の強化や、専用サイト構築による情報発信を強化することで、市内企業の休廃業を未然に防ぎ、円滑な事業承継を促進するとともに、雇用の場の維持を図る。	5,000	5,300	300
5	○			雇用を守る事業承継・引継ぎ支援強化事業	事業承継の潜在ニーズを調査し、専門相談員を配置して、市内企業の休廃業を未然に防ぎ、事業承継を促進。		5,000	5,600	600
6	○			ものづくり中小企業職場環境改善支援事業	中小製造業・建設業が行う女性専用設備の設置や女性・高齢者の作業をアシストする機器導入、暑さ対策設備の設置・機器導入等、職場環境の改善に必要な経費の一部を助成することで、人手不足に苦しむ市内中小企業の人材確保・定着を支援する。	・企業ニーズ等を踏まえ、補助交付額を見直す。 ・既存の「女性及び高齢者の作業をアシストする機器の設置及び購入など」のほか、「暑さ対策設備の設置・機器導入など」を対象事業に加え、市内中小企業の人材確保・定着の支援を進める。	3,514	6,000	2,486
7				中小企業人材確保支援助成金	市内中小企業で構成された団体が独自に取り組む、業界の魅力等を伝える啓発や、職場環境改善のための事業経費の一部助成により、市内中小企業の最優先の経営課題の一つとなっている若者や女性等の人材確保を支援する。	・助成事業の成果を広く周知することで、制度を利用する団体を増やしていくとともに、助成金事業を活用した団体の取組を広報することで、業界の理解やイメージアップに繋げていく。	1,500	1,296	-204

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8				中小企業融資損失補償	中小企業融資の返済が不能となった場合に、福岡県信用保証協会の代位弁済により発生する損失の一部を補償するとともに、中小企業が負担する信用保証料の一部を補填することで、市内中小企業の円滑で有利な資金調達を支援する。	・コロナ対応融資により令和3年度は代位弁済が減少していたが、令和4年は想定される代位弁済の増加に対応するため損失補償見込額の増額、及び積みあがったコロナ融資残高に対応する信用保証料の補填に備え予算を増額とした。	615,000	744,401	129,401
9				中小企業融資	市内中小企業者に対し、長期・低利の各種事業資金を融資する制度を運用する。	・新型コロナウイルス感染症により影響を受けている事業者の資金繰りに十分対応できる範囲で、多大な不用額が発生しないよう、実態に合わせた予算額とした。	110,000,000	75,000,000	-35,000,000
10				中小・小規模企業資金調達円滑化支援事業	中小企業の融資相談窓口において、中小企業診断士等の金融相談員を配置し、市や県等の融資制度の中からそれぞれの企業に最適な制度を紹介する。	・従来紙媒体で発行していた「融資制度の手引き」を電子データ配布へ変更したことや、中小企業融資チェックシートの廃止によるペーパーレス化により費用削減を行った。	5,806	5,523	-283
11	○			中小企業技術開発振興助成金	新技術・新製品開発に取り組む中小企業に対する研究開発費の助成を行うことにより、中小企業の技術開発力の向上と高付加価値企業への転換を促進する。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	21,986	21,116	-870
12				経営リーダー育成支援事業	戦略的思考力や果敢な行動力を有する経営リーダー、社内変革推進者、高度技術を持つ人材の育成など、企業の経営革新に大きな役割を担う中核人材の創出・育成を図るために、各種専門講座等を実施する。	・商工会議所その他支援機関では実施が困難な技術者の育成や中小企業の課題に幅広く対応する中小企業大学校での受講を支援する施策を通じての中小企業の人材育成に寄与していく。	1,400	1,400	0
13				オンリーワン企業創出事業	北九州発の独創的な技術・製品・サービスを提供する優れた中小企業である「オンリーワン企業」を本市の看板企業として市内外に情報発信・プロモーションを行う。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。 ・これまでのオンリーワン認定企業28社について、広報活動を広く行うことで、若年者の人材確保を支援していく。	3,000	3,000	0
14	○			ビジネスチャンス拡大支援事業	地元中小企業の受注拡大・販路開拓を支援する。 ①大規模展示会等出展支援 ②(仮称)販路拡大支援事業 ③巡回指導・マッチングコーディネート ④四都市連携交流事業 ⑤北九州発！新商品創出事業	・引き続き中小・小規模企業のニーズに効率的かつ効果的に対応する。	16,436	15,064	-1,372
15	○			中小企業支援センター特定支援事業	市内中小企業のための窓口相談・専門家派遣・情報提供など、専門的かつ総合的なサービスを提供する。	・企業ニーズ等を踏まえ、補助交付額の見直しなど、適切かつ効率的な運営に努めていく。	18,283	18,041	-242
16				中小企業団体育成支援事業	中小企業支援機関や中小企業団体の事業費の一部を助成することで、中小企業の育成・振興を図る。	・補助交付額の見直しなどを含め、適切かつ効率的な運営に努めていく。	11,304	11,304	0
17				産業振興一般事務(中小企業振興課)	一般事務費	・事務費についても適切かつ効率的な運用を行う。	22,039	20,585	-1,454

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
18				起業家支援工場管理運営事業（公共）	モノづくり産業活性化のため、独創的な技術やアイデアをもつ中小企業を審査を経て、「起業家支援工場」に入居してもらい、成長のための支援を行う。併せて、工場の維持管理も行う。	・企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	2,000	2,000	0
19		○		新型コロナウイルス中小企業経営総合相談事業	総合的な支援メニューの紹介や経営相談に対応できる専門相談員を常駐させた窓口を1か所に集約する。また、支援メニューをデータベース化し、チャットボットを活用した支援システムを構築することで、中小企業者がオンラインで24時間相談を受けられることを可能とする。	・国・県・市の融資・助成金などの支援メニューの紹介や経営相談に対応できる窓口（オンライン相談も可）を設置するとともに、中小企業者がオンラインで24時間相談を受けられるチャットボットを活用したウェブシステムの構築を行う。	5,000		-5,000

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 観光課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者の経営下支えの継続とともに、ワーケーションやマイクロツーリズム等新たな旅のスタイルを推進する。 ・安全・安心な観光のための環境整備を行うとともに、周遊観光を促進し観光客誘致やにぎわいづくりに取り組む。 			
	課長名	徳永 篤司		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	633,900 千円
						令和3年度当初予算額(B)	577,821 千円
					増減額 (A - B)	56,079 千円	
					人件費	目安の金額	課長 2 人
							173,000 千円

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1		○		<新>北九州安全・安心の旅応援事業	コロナ禍で打撃を受けた宿泊施設や旅行事業者への継続的な下支えと観光需要の取り込みを図るため、ワクチン接種済証等を提示した観光客への料金割引を行う観光事業者等へ助成金を支給し、観光誘客を促進する。	・観光事業者への継続的な下支えと観光需要の取り込みを図るため、ワクチン接種済証や陰性証明等を提示した観光客への料金割引を行う宿泊施設及び旅行社に対して、助成金を支給する。		98,000	98,000
2		○		<新>北九州「新たな旅のスタイル」促進事業	ワーケーションなどの新たな旅行ニーズやマイクロツーリズム需要を取り込むため、体験型などの観光メニューの発掘、市内周遊モデルコースの造成及び効果的なプロモーション等を実施し、本市へ観光客誘致を促進する。	・旅のスタイルの変化に合わせ、近隣からのリピーターやワーケーション等で中長期的に滞在する方のニーズに対応できるように、観光コンテンツの充実を図り、市内観光周遊を促す。		20,000	20,000
3	○	○		<新>日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業	夜景都市としての本市のブランドを活かした旅行会社向けプロモーションや観光客向けイベント等を実施し、本市の夜型観光を促進する。	・「日本新三大夜景都市」ブランドを活かしたプロモーションや夜景イベント等を実施することで、本市の夜型観光を促進し、更なる誘客を図る。		10,000	10,000
4				修学旅行などの団体旅行客誘致促進事業	本市での宿泊及び本市の観光施設等の活用を促す旅行事業者向け助成等を実施し、修学旅行などの宿泊を伴う団体客の誘致を促進する。	・経済波及効果の高い修学旅行などの宿泊を伴う団体客の誘客を図るため、また、新型コロナ禍で修学旅行の行先を変更する学校が増えている状況を踏まえ、エージェント向けの宿泊助成やセールスツールの制作を行う。	11,000	20,000	9,000
5		○		<新>観光地ブランド創出事業	観光情報サイト「ぐるリッチ北Q州」の改修を行い、観光の重要な要素である地域・人・食のストーリーを伝え、季節ごとのおススメスポット・コースを提案する等、北九州市の観光地としての魅力をより分かりやすく、魅力的に発信していくことで、観光地としてのブランド力を高める。	・観光にまつわる地域・人・食のストーリーや、より具体的な旅を提案することができるといったようなサイト改修を行う。		5,000	5,000
6		○		<新>八幡東田発！市内周遊観光創出事業	令和4年春に大型複合施設のオープンに伴い多くの来訪者が見込まれる八幡東田地区への来訪者の調査分析を行うとともに、観光案内による情報発信や周遊モデル事業を実施する。	・令和4年春に予定されている八幡東田地区の大型複合施設の開業により多くの来訪者が見込まれるため、当地区に訪れる観光客の調査分析を行うとともに、市内各所への周遊促進を図る。		30,000	30,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
7				宿泊施設等改修支援事業	施設のバリアフリー化、ストレスフリー環境の整備、生産性の向上などに取り組もうとする市内宿泊施設等の設備投資などの一部を補助することにより、本市への観光客の安全安心な旅の提供、満足度の向上を図るもの。	・補助対象事業について、宿泊事業者の意向を確認し、ニーズに合った補助内容とすることで、広く活用していただき、本市の観光産業の底上げを図る。	10,000	13,300	3,300
8				宿泊税モニタリング調査事業	令和5年度に見直しを行う必要がある宿泊税について、北九州市宿泊条例に定めのある施行状況の検討を行うため、宿泊税を活用した観光振興への取組の効果検証や今後の活用についての検討等を行う。	・新型コロナウイルス感染症の影響により当調査を中断していたが、令和4年度については、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、基礎調査や検討会などを実施する。	3,500	6,000	2,500
9		○		<新>観光案内ボランティア育成事業	本市の観光振興において大きな役割を果たしている「観光案内ボランティア」の育成・制度運営を行う。さらに、より多くの観光客にボランティアガイドを利用してもらえるよう利便性の向上に取り組む。	・毎年開催している「北九州観光市民大学」を継続し、受講者の中から「観光案内ボランティア」を募集・育成する。 ・また、既存の活動には参加できていなかった学生・社会人といった若年層まで対象を広げ、より多くの市民が活動に参加しやすい環境づくりに取り組む。		3,500	3,500
10				メディアを活用した北九州観光PR展開事業	市内外からの観光客の誘客を図るとともに、本市の「観光地」としての知名度の向上を図るため、福岡地方のテレビ局の情報番組(地上波放送)中に、北九州市の観光情報を紹介するレギュラー・コーナーを設ける。放送は月2回ペース(年間24回)、1回あたり5分以上を予定。	・紹介するテーマは市及び民間事業者(番組制作会社)がそれぞれ提案しながら、民間の視点・発想を広く取り入れる。 ・リポーターにはタレントを起用し、放送局のHPやSNS等を活用して番組告知を行うことで、視聴者の拡大・情報の拡散を狙う。	14,000	20,000	6,000
11				観光案内所運営等事業	観光案内所の安定的運営を図り、本市の観光地としての魅力を内外からの観光客へ発信、おもてなしの向上を図ることで、旅の満足度を高める。また、小倉駅・小倉城周辺での公衆無線LANの運用により、快適な街歩きをサポートする。	・小倉駅・小倉城周辺に整備した公衆無線LANの運用により、快適な街歩きをサポートする。 ・他地域の観光案内所との連携を進めることで、より広域的な誘客に取り組む。 ・観光客のニーズを積極的に聞き取り、「ぶらりカード」等の独自ツールも活用しながら、きめ細かな旅の提案を行う。	61,422	61,422	0
12	○			インバウンド誘致強化事業	外国人観光客の受入再開に向けて、周辺自治体等と連携してオンライン商談会などのデジタルを活用した各種プロモーションを実施するとともに、広報物多言語化などの受入環境整備を行う。また、受入再開後は、現地旅行社へのセールス等を実施する。	・外国人観光客の受入再開に向けオンライン商談会・FAMツアーなどのデジタルを活用したプロモーションを実施するとともに、受入再開後は、現地セールスを実施することにより回復するインバウンド需要の取り込みを図る。	15,000	15,000	0
13				小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ事業	長崎街道(シュガーロード)など、小倉城関連の歴史的・文化的資源の掘り起こしや、観光資源の磨き上げを図り、広域的な連携を含めた情報発信を実施する。	・日本遺産に認定された「シュガーロード」の歴史・文化を観光資源として活用するため、市民参加型のイベントを実施する。 ・小倉城庭園のライトアップメンテナンスを行う。	10,000	10,000	0
14		○		<新>血倉山周辺施設長寿命化推進事業	血倉山周辺施設の長寿命化を図るもの。	・血倉山ケーブルカー山上駅耐震改修工事実施設計を受け、同駅の耐震補強、増築棟の撤去及び機能回復を行うもの。 ・血倉山ビジターセンター外壁補修工事実施設計を実施するもの。		38,700	38,700

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
15		○		<新>全国産業観光 フォーラムin北九州開 催事業	ものづくりの歴史がある本市ならではの観光コンテンツである産業観光の魅力をPRし、本市への誘客につなげるため、産業観光に関する国内最大のフォーラムを開催する。	・コロナ禍でほとんどの産業観光施設は工場見学等をストップしているが、「全国産業観光フォーラム」を誘致し、来場型とオンラインの工場見学を組み合わせた新しい工場見学の提案等を行うことで、アフターコロナにおける新しい産業観光を本市から全国に発信する。		13,000	13,000
16		○		<新>小倉城続櫓基本 計画及び耐震補強計画 策定事業	小倉城続櫓の改修基本計画及び耐震補強計画を策定するもの。	・小倉城続櫓における改修条件を整理し、景観やバリアフリーへの対応や耐震補強計画について検討する。		10,400	10,400
17		○		<新>観光施設個別施 設計画策定事業	観光客の安全安心な施設利用を図るため、計画的な維持管理を行う予防保全によって、観光施設の長寿命化に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を図る。	・小倉城、しろテラス、着見櫓、三階菱、小倉城庭園について、個別施設計画を策定する。		3,000	3,000
18		○		<新>しろテラスの整 備に係る埋蔵文化財整 理事業	しろテラスの整備に伴い実施した埋蔵文化財発掘調査について、発掘された遺物など資料の整理や報告書の作成及び刊行を行う。	・小倉城大手門施設建築事業に伴う埋蔵文化財の整理を行う。		6,000	6,000
19				皿倉山プレミアム夜景 創出事業	皿倉山頂からの夜景は、平成30年に「日本新三大夜景都市」に認定された本市の中でも代表的な夜景スポットである。その皿倉山において、「プレミアム夜景の日」と題して特定の期間に、より夜景観賞地として特徴的なおもてなしを行うことで、観光客が皿倉山へ赴く契機を創出し、観光商品価値の磨き上げを図るもの。	・夜景の価値を高めるようなイベントや飾りつけ、無料シャトルバスの運行などのおもてなし強化を特定の期間に集中的に実施する。	7,500	7,500	0
20		○		<新>観光施設安全・ 安心推進事業	観光課が所管する施設について、安全・安心の推進を図るもの。	・皿倉山ケーブルカー橋梁点検 ・児童文化科学館移転及び旧安川邸グランドオープンに伴う観光案内標識修正業務 ・観光案内標識の管理計画等の策定		6,600	6,600
21		○		<新>次期観光振興プ ラン策定事業	次期観光振興プラン（令和6年策定予定）の策定に向け、新型コロナウイルス感染症の影響により変化した観光形態や新たなニーズを把握するための市内観光動向の調査の実施。	・次期観光振興プラン策定に向けた基礎調査を行うもの。		5,000	5,000
22				AIMビル賃借料	AIMビル賃借料・共益費	—	26,772	26,772	0
23				公用車リース経費	公用車のリース経費	—	574	571	-3
24				小倉城・小倉城庭園指 定管理事業	小倉城・小倉城庭園の管理運営に要する指定管理料。	・指定管理者との契約に基づき、指定管理料を決定する。	48,706	80,200	31,494

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
25				平尾台自然観察センター指定管理事業	平尾台自然観察センターの指定管理料。	・福岡県が定める指定管理料の半額を負担する。	13,423	13,837	414
26				観光関連施設整備事業	観光案内板・観光施設の維持補修や改修を実施する事業。	・令和3年度と同様に観光案内標識の補修等を行う。	1,831	1,831	0
27				血倉地区等観光施設管理事業（公共）	血倉山をはじめとする観光施設の法定点検や占用手続等、維持管理運営を行う。	—	24,053	24,052	-1
28				血倉山ケーブルカー運行事業	血倉山ケーブルカー・スロープカーの運行に必要な鉄道設備等の大規模改修やオーバーホール等を実施する。	・整備計画に基づき、オーバーホールを実施する。	22,073	20,970	-1,103
29				観光振興一般事務	一般事務費	—	18,953	18,434	-519
30				東アジア観光客誘致推進事業～ビジット北九州～	主に、韓国・台湾・香港・中国をターゲットにし、市内観光関連企業とともに外国人観光客に対する誘致の推進を図る。	・外国人観光客の受入再開に向けて、引き続き東アジア向けのプロモーションを実施するとともに、福岡空港に直航便が多く就航し訪日客数の伸びも大きい東南アジアへのプロモーションにも力を入れる。	14,014	13,164	-850
31	○			観光振興推進事業	エージェント等へのセールスや情報発信、観光プロモーションの実施、観光案内所の管理運営を行い、観光振興を図る。	・継続的なセールス活動を実施し、リピーター観光客の確保や滞在時間の延長を促進するとともに、観光資源の発掘・磨き上げの強化により、来訪者の満足度向上を図る。	21,480	20,406	-1,074
32				血倉地区等観光振興事業	本市の魅力的な観光地エリアの周遊性を高め、集客を図ることを目的として、イベント開催や情報発信を行う。	・血倉山地区観光振興に係るPR経費の見直しを行った。 ・小倉城下町PR経費の見直しを行った。 ・北九州パラグライダー振興会への負担金の見直しを行った。	8,148	7,741	-407
33				四都市交流連携事業	鹿児島市・熊本市・福岡市と連携し、東アジア等からの更なる観光客誘致を目指す。	・従来ターゲットとしていた東アジアに加えて、東南アジアや欧米豪からの誘客も目指し、各都市と更なる連携強化を図りながら事業に取り組む。	2,500	2,500	0
34				観光客動向実態調査事業	本市における観光客の動向や特性を把握することにより、観光施策を効果的に推進するもの。	・本市の観光動向を調査し、今後の観光施策に活用する。	5,000	1,000	-4,000
35	○		○	観光案内機能強化事業	小倉駅北口のコンベンション施設等への誘導、駅南口での観光施設や飲食店、商業施設への周遊・滞在時間の延長を促すため、小倉駅南北のペDESTリアンデッキに観光案内板（デジタルサイネージ）を整備する。	—	15,000		-15,000
36			○	血倉山頂夜間景観整備事業	血倉山頂において、麓からも夜景観賞地としてのPR効果が得られるようなイルミネーション等の夜間景観整備を行う。	・令和3年度に実施する実証実験の結果をふまえ、本設置に向けた検討を行う。令和4年度は予算要求なし。	18,000		-18,000
37			○	OTAを活用した宿泊キャンペーン事業	旅行予約サイト（OTA）を活用して、国内及び海外個人を対象に、市内の主要宿泊施設において1,000円、2,000円、3,000円のいずれかで客室を販売し、市が差額を助成するキャンペーンを行う。	—	100,000		-100,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
38			○	北九州市旅行商品造成事業	本市での宿泊を伴う商品や、市内観光施設への入場・食事が含まれる商品を造成した旅行社に対し、助成金を支給する。	—	7,000		-7,000
39	○		○	日本新三大夜景都市と産業観光コラボレーション事業	新三大夜景都市の再認定に向けて、名月サミット等、夜景に関する全国的なコンベンションの誘致や夜景イベントを開催し、本市の夜景の魅力をPRを更に強化する。また、工場夜景など特色ある本市の夜景と産業観光施設を組み合わせた新たな周遊ツアーのメニュー開発を行う。	—	15,000		-15,000
40			○	夜景モニターキャンペーン事業	「全国夜景サミット（むつ市）」、「世界夜景サミット（長崎市）」、「全国名月サミット（北九州市）」に参加する夜景観光士や夜景観光関係者を対象に、本市の夜景スポットを無料で利用できる「北九州夜景満喫パスポート」を配布し、本市の夜景を堪能してもらうとともに、本市の日本新三大夜景都市の再認定への支援をお願いする。	—	5,000		-5,000
41			○	観光施設補強事業	観光施設の耐震化等の補強事業を行う。	—	7,800		-7,800
42			○	観光振興プラン検討・策定事業	平成26年5月に策定した「北九州市観光振興プラン」は計画予定期間の終了時期を迎えており、に新たな観光振興プランを打ち出すために調査や検討を行う。	—	9,000		-9,000
43			○	小倉城庭園展示改修事業	開館以来20年が経過し、老朽化が進んでいる小倉城庭園において小笠原文化をより魅力的に発信するために設備や展示物の改修に向けて計画策定を行う。	—	26,000		-26,000
44			○	小倉城庭園ライトアップリニューアル事業	老朽化のため大部分が故障している小倉城庭園の既設のライトアップ設備のリニューアルを行う。	—	25,000		-25,000
45			○	国際会議場ライトアップ整備事業	本市の玄関口である小倉都心部において、道路、公園、河川、観光・交流施設等の夜間修景整備を一体的に行う。	—	10,000		-10,000
46			○	公用車リース経費	公用車のリース経費	—	72		-72

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 門司港レトロ課		重点項目	・門司港レトロ地区のにぎわいの創出。						
	課長名	仲道 裕一		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	759,455 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
						令和3年度当初予算額(B)	612,395 千円		76,500 千円	係長 2 人
						増減額(A-B)	147,060 千円		職員 6 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			門司港レトロリニューアル事業（施設更新）	本市を代表する観光地において、利用者に安心して観光施設を利用してもらうために、既に老朽化による不具合が生じている施設について、改修を行うもの。	・施設の機能維持を図る。	16,000	22,500	6,500
2	○			門司港レトロリニューアル事業（施設更新以外）	本市を代表する観光地において、利用者に安心して観光施設を利用してもらうために、施設の維持、点検を行うもの。	・施設の機能維持を図る。	4,600	7,500	2,900
3				門司港レトロ観光列車推進事業（運行補助金）	門司港レトロ観光列車の運行事業者である平成筑豊鉄道株式会社に対し、運行事業収入と運行に必要な経費の差額を補助するもの。	—	18,000	18,000	0
4				門司港レトロ地区産業観光施設指定管理者制度導入事業（指定管理）	門司港レトロ産業観光施設の指定管理料	・指定管理者制度を導入し、利用者へのサービス向上及び管理運営に係る経費削減や施設管理の効率化を図る。	366,553	365,809	-744
5				観光施設管理運営事業（門司港レトロ課）（公共）	三宜楼の維持管理及びその他施設の維持補修、観光列車運行に係る鉄道用地借地代等	・施設の機能維持を図る。	11,549	11,549	0
6				観光振興一般事務（門司港レトロ課）（その他）	門司港レトロ課一般事務費	—	9,028	8,738	-290
7				門司港レトロ観光推進事業（その他）	官民一体となった門司港レトロの観光振興	・観光地としての価値の維持・向上を図る。	34,720	32,980	-1,740
8				土地取得特別会計公債特会繰出金（産業経済局分）	門司区東港町12番（旧四建跡地）の土地購入の際に銀行から借り受けた債務の利子分償還経費	—	445	3,990	3,545
9		○		門司港レトロ地区における東アジア文化都市2020北九州推進事業	東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、多様な文化の国際発信力の強化を図るためイベント等を実施し、文化交流のきっかけとなる産業・観光の振興を促進する。	—	9,000		-9,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10			○	観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業	レトロ中央広場・大連友好記念館前広場・門司港駅前広場における無料公衆無線LAN (Wi-Fi)の整備による情報発信の強化を行う。	—	19,000		-19,000
11				門司港レトロ・和布刈地区夜のにぎわい創出事業	門司港レトロ・和布刈地区の「滞在時間の延長」「回遊性の向上」に加え、地域のにぎわいを取り戻すため、夜間景観を生かした夜のにぎわいを創出。	・門司港レトロ、和布刈地区の長年の課題である「滞在時間の延長」「回遊性の向上」に加え、コロナ禍で打撃を受けた地域のにぎわいを取り戻すため、夜間景観の魅力の周知と夜間観光客の増加に向けた取組で両地区の夜のにぎわいを創出する。	10,000	10,000	0
12				歴史的建造物耐震改修事業(債務)	歴史的建造物であり、門司港レトロを象徴する財産である旧門司三井倶楽部(重要文化財)の耐震補強、保存修理等を行うことで、付加価値を高め、集客の拠点とするもの。	・「北九州市耐震改修促進計画」では「特定既存耐震不適格建築物」について、計画的に耐震化を進めていくこととしている。同計画では令和7年度までの完了を目指すこととしており、耐震改修工事を行う。 ・旧門司三井倶楽部は文化庁の補助金を活用し、令和3年度から耐震改修や保存修理に着手している。	66,500	180,089	113,589
13			○	<新>歴史的建造物耐震改修事業(臨時)	歴史的建造物であり、門司港レトロを象徴する財産である旧門司三井倶楽部(重要文化財)の耐震補強、保存修理等を行うことで、付加価値を高め、集客の拠点とするもの。	—		7,800	7,800
14			○	<新>和布刈地区観光拠点化推進事業	和布刈地区は数多くの自然や歴史といった地域資源を有し、昔からレクリエーションの場として親しまれてきたことから、その地域資源を観光拠点化し、和布刈地区全体の活性化を推進。	—		7,000	7,000
15			○	<新>門司港レトロ地区観光施設長寿命化事業	門司港レトロの観光施設について、選ばれる観光地として、観光客の安全安心な施設利用を図るため、計画的な維持管理を行う予防保全によって、観光施設の長寿命化に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を図る。	—		9,000	9,000
16			○	<新>ミステリーツアー関門エリア開催事業	関門エリアが国民的アニメの舞台として取り上げられることを機に、下関市と連携し、同アニメを活用した観光プロモーションを実施。	—		20,000	20,000
17			○	<新>門司港レトロ建築物老朽化対策事業	観光客や貸ホール利用者が訪れる門司港レトロ観光物産館の外壁や屋根、内部天井等の経年劣化部分について、改修工事等を行うことで、施設を安全に利用できるようにする。	—		40,000	40,000
18			○	<新>日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」PR事業	関門エリアで日本遺産サミットが開かれる機会を捉え、誘客促進のため、日本遺産を活用したオンラインツアーとデジタルスタンプラリー等を実施。	—		8,000	8,000
19				門司港レトロ観光列車整備事業	老朽化の進む門司港レトロ観光列車の施設設備について、毎年の施設設備定期検査報告に基づき計画的な修繕を行い、安全・安心な運行を行うもの。また線路内には雑草等が茂っており、列車の運行の妨げになるため、定期的な除草を行うもの。	・老朽化の進む施設設備の中で、特に修繕の必要性が高いものを修繕し、列車を安全・安心に運行する。	47,000	6,500	-40,500

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 商業・サービス産業政策課		重点項目 ・リノベーションまちづくりなどにより、広域商業拠点としての魅力アップや中心市街地にふさわしいにぎわいづくりを図る。 ・商店街における消費喚起等の取組を支援し、商店街組織の維持・強化を図るほか、個店支援の取組も行い、地域商業の振興を図る。 ・国内潜在需要に対応した新たなビジネスと雇用の創出を図る。								
	課長名	原田 健二		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	561,265 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
		令和3年度当初予算額(B)		92,011 千円	増減額 (A-B)	469,254 千円	116,500 千円		係長	3 人	
職員	10 人										

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			黒崎応援プロジェクト事業	黒崎地区において、マルシェイベントやアートプロジェクトなどを実施し、街なかの賑わい創出を図る。	・令和3年10月まで事業実施した結果、イベント開催のノウハウや出店者との繋がりができ、将来的に持続可能な賑わいづくりに繋がるものが出てきており、引き続きそのような取組への支援を継続することとする。	11,000	11,000	0
2				堺町公園魅力向上事業	飲食屋台等の出店が予定される堺町公園での新たなにぎわい創出につなげるため、PRやイベントによる魅力的な雰囲気づくりの支援を行う。	・出店事業者と地域で活動する団体や事業者との連携を強めるとともに、その取組をPRするなど、新たなにぎわいづくりの支援を継続するもの。	1,500	1,500	0
3		○		商店街満足度向上事業	Withコロナ時代でも商店街に立ち寄る買い物客の満足度を向上させるための支援事業を実施する。	—	1,000		-1,000
4				北九州市商圈調査	北九州市及び周辺に在住の主婦、独身者、高齢者等を対象に、消費購買行動等を調査し、北九州市の商圈構造がどのように変化してきているかを明らかにする。	—	20,000	20,000	0
5	○			黒崎地区リノベーション事業	黒崎地区の空き物件等をリノベーションの手法により再生させ、商業の活性化及び魅力向上を図る。	・リノベーションスクールの題材物件等の事業化へ向けた支援を継続して行い、事業化した案件については積極的にPRしていく。 ・本取組を通じて、まちづくりを実践できる「プレイヤー（民間事業者）」を発掘し、民間事業者のビジネススペースとしての取組を推進する。	12,000	12,000	0
6				商店街プレミアム付商品券発行支援事業	福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援することにより、地域の消費を喚起し地域商業の活性化を図る。	・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、引き続き県とともにプレミアム率20%（通常は5%）の補助を行う。 ・令和3年度の予備費を利用して、令和3年度末から令和4年度にかけ、追加で商品券の発行支援を行う。	0	430,000	430,000
7	○			サービス産業振興事業	市内サービス産業の生産性向上を目的とし、サービス産業の振興に関する人材育成や具体的な活動の支援、デザイン産業の振興等を図る。	・市内サービス産業の生産性向上を図るため、クラウドサービスの導入支援等、引き続き具体的な活動の支援を強化する。	3,164	3,157	-7
8	○			健康・生活産業振興事業	北九州市健康・生活産業振興協議会を核に、健康・介護、女性・若者、子育て・教育分野等の健康・生活サービス産業において、地域企業の支援やビジネスマッチング等の取組を通じ、新たなビジネスの創出とサービスの向上を促進し、雇用の創出を図る。	・助成事業を廃止し、セミナー等で健康生活支援ビジネスの推進を図る。 ・北九州市健康・生活産業振興協議会の活動を通じて、事業者連携を図り、高齢者を始めとした、市民の健康で快適な生活につながる新しいサービスの創出を支援する。	8,852	3,968	-4,884

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9	○			リノベーションまちづくり推進事業	遊休不動産の再生を通じ、雇用の創出並びに街なかのにぎわいづくりの拡大を促進する。	・リノベーションスクールの題材物件等の事業化へ向けた支援を継続して行い、事業化した案件については積極的にPRしていく。 ・本取組を通じて、まちづくりを実践できる「プレイヤー（民間事業者）」を発掘し、民間事業者のビジネススペースとしての取組を推進する。	3,414	3,414	0
10	○			商店街活性化支援事業	商店街における空き店舗の有効利用促進や、新たな事業への補助、活性化計画作りを支援することにより、商店街及び小売市場の活性化を促進する。	・コロナ禍で交付件数が急増中の「商店街空き店舗活用事業補助金」について、予算を増額して出店希望者の補助要望に応えられるよう見直しを図った。	10,850	14,192	3,342
11				中小企業団体共同施設等設置補助	商店街組合等の中小企業団体が、アーケードや共同駐車場、省エネ型照明設備を設置等する場合に、経費の一部を補助する。	—	5,110	5,110	0
12	○			商業人材育成事業	市内の企業経営者への支援や、次世代育成活動、経営者等の交流促進を通じ、人材の育成を図る。	・市内で商業を営む経営者・後継者等を対象に、専門のコンサルタントによる具体的な実践的な講座を開講し、商業者への支援を行う。	2,106	2,103	-3
13				大規模小売店舗立地法運用事業	大規模小売店舗立地法の届出にかかる事務経費。	—	593	605	12
14				産業振興一般事務（商業・サービス産業政策課）	一般事務費。	—	4,597	4,597	0
15				食品ブランド化・販路開拓支援事業	今後の成長が見込まれる中小食品製造業に対して、商品の企画・開発・試作から販路開拓、販売までを一環して支援する。	・コロナ禍による行動制限もひと段落し、また再び観光需要が高まるものと考えられることから、「観光土産」をテーマに商品のブラッシュアップを行い、市内の食品事業の活性化に取り組む。	7,825	7,619	-206
16	○			<新>「withコロナ」商店街にぎわい応援事業	東田地区の集客を周辺エリアのにぎわい創出につなげるため、市内商店街の紹介や見どころエリアの情報発信、街なかの賑わいイベント等を実施する。	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、まちなかではイベントの多くが中止を余儀なくされ、好調だったインバウンド需要も消失し、賑わいが低迷している。そのような中、令和4年春に東田地区にアウトレットモールが開業する予定であり、市外、県外から多くの集客が期待される。そこで、東田地区の集客を、周辺エリアへの賑わい創出に取り組むもの。		12,000	12,000
17	○			<新>黒崎で大きなシャッターヒラクモデルプロジェクト（大型空き店舗有効利用モデル事業）	黒崎地区の街なかの賑わい創出を図るため、物件所有者と出店事業者を対象に出店に必要な費用の一部を助成し、集客力のある店舗の出店を促す。	・集客力のある店舗（核テナント）について、売り場面積100坪以上の大型店を条件とし、出店事業者向補助（整備費もしくは一定期間家賃相当）及び当該物件所有者向け補助（改修費）をそれぞれ設け、出店時の賃貸借両者の初期投資を軽減することで、誘致の実現を後押しする。		30,000	30,000

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 MICE推進課		重点項目 ・都心部のにぎわい創出 ・都心部へのさらなる集客促進 ・MICE誘致の推進							
	課長名	河津 伸二		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	792,994 千円	人件費	目安の金額	課長 2 人
						令和3年度当初予算額(B)	1,114,823 千円		係長 3 人	
						増減額(A-B)	-321,829 千円		職員 6 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				情報誌「雲のうえ」都市イメージアップ事業	情報誌「雲のうえ」を発行するほか、本市のにぎわいづくりを推進する民間のリーダー組織の活動を支援する。	・年2回の発行を維持しながら、内容の更なる充実と、安定的な発行に向け広告等収入の増加を図る。	10,830	10,830	0
2				わっしょい百万夏まつり	本市のにぎわいを創出し、集客促進や経済効果を目指すため、わっしょい百万夏まつりの開催経費の一部を助成する。	・膨らむ警備費等に対応しつつ、安全第一とした祭りを実施し、まちのにぎわいを創出することにより、市民が誇れる祭りを目指す。	54,700	44,700	-10,000
3		○		<新>(仮称)わっしょい百万夏まつり第35回記念事業	第35回を迎えるわっしょい百万夏まつりの記念事業経費の一部を助成する。	・第35回記念事業として、既存イベントの充実を図り、まちのにぎわいの創出や更なる集客と経済効果を目指す。	/	8,000	8,000
4				まつり振興補助事業	本市のにぎわいを創出し、集客促進や経済効果を目指すため、市内の祭りに対して開催経費の一部を助成する。	・歴史・文化の継承を行い、にぎわいの創出や集客促進を図る。		14,680	14,580
5				民間イベント支援事業	民間団体等が実施するイベント等の事業費の一部を助成することで、本市のにぎわいを創出させるとともに、民間団体等が恒常的・継続的・自主的にイベント等を実施していく将来的な土壌作りを行う。	・まちのにぎわいにつながる事業やイベントについて、新規性や話題性を求めつつ、実施にあたってはコロナ収束を見極め、感染症対策に留意し、にぎわいの創出を図る。	2,500	2,500	0
6		○		MICE誘致推進強化事業	MICE誘致の重要なインセンティブとなるMICE開催助成金制度を実施する。	・MICE開催助成金のうち、感染症対策特別支援制度を改正することで制度拡充し、情勢の変化にあわせた効果的な運用を図り、引き続き「国際MICE都市北九州」を目指す。	88,000	88,000	0
7				グローバルMICE都市推進事業	国からグローバルMICE強化都市に選定されたことを契機に、本市のMICEに関する取組を強力に推進していくとともに、MICE開催都市として認知度や総合的な魅力向上を図っていき、「国際MICE都市北九州」を目指す。	・コロナ禍の限られた状況のなか、キーパーソンと密に連携し、アフターコロナを見据えた活動を行っていく。	6,400	5,000	-1,400
8				産業見本市開催事業	本市の特性を活かした展示会を開催し、市内産業の活性化に寄与する。	・関係機関と連携し、効果的な展示会となるよう実施していく。	1,600	1,600	0
9				北九州国際展示場管理運営業務	国際展示場の指定管理料	・北九州国際展示場の指定管理業務が効果的に行われるよう、指定管理者と経費を含めて連携を図っていく。	296,614	296,479	-135

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				北九州国際会議場管理 運営等業務	国際会議場の指定管理料	・北九州国際会議場の指定管理業務が効果的に行われるよう、指定管理者と経費を含めて連携を図っていく。	194,271	194,524	253
11				北九州国際展示場施設 整備事業（債務負担）	国際展示場の設備改修工事	・債務負担内容に基づき、適切に実施していく。	9,520	9,520	0
12		○		北九州国際展示場施設 整備事業（債務負担）	国際展示場の設備改修工事	—	350,000		-350,000
13				都心集客推進事業	都心部のにぎわい創出及び集客交流の推進を図るイベントや企画を実施する。	・小倉駅新幹線ロエリアの主要施設と連携し、都心全体の回遊性を向上する。	8,570	8,112	-458
14				TGC北九州2022開催事業	史上最大級のファッションイベントである「東京ガールズコレクション」とのコラボイベントを本市で開催することで、地方創生に向け新たなイメージ創出とともに、地域の活性化を図る。	・商業施設や商店街等と連携した関連企画を実施することにより、イベント期間の前後を通じた街のにぎわいづくりや本市の魅力発信に取り組む。	35,000	35,000	0
15				COOL KITAKYUSHU推進事業	本市の持つマンガやアニメ、モノづくり文化等を基盤として、ポップカルチャーを切り口に都心部のにぎわいづくりを行うとともに、世界に発信しうる新たなビジネスを創造する。	・コロナ対策をしっかりと行い、都心の集客・周遊に取り組む。	36,000	36,000	0
16				MICE推進拠点整備事業	課の一般事務費	・MICE推進等事業の実施にあたり、施設や組織を適切に運営していく。	3,755	3,755	0
17				公用車リース経費	車両リース代	—	383	198	-185
18		○		<新>公用車リース経費	車両リース代	—		196	196
19				「Withコロナ」での民間イベント支援事業	コロナ禍における新しい形態の民間イベントの支援・育成を行う。	—	2,000	10,000	8,000
20				北九州国際展示場施設 整備事業	国際展示場の修繕等経費	・本市MICEの中核施設である北九州国際展示場の長寿命化を図るため、優先度をつけ適切に維持・補修していく。	0	24,000	24,000
21				北九州国際会議場施設 整備事業	国際会議場の修繕等経費	—	0	0	0

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 企業立地支援課		重点項目 ・企業立地促進による雇用創出 ・地元企業支援									
	課長名	城戸 健一		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	2,484,864 千円	人件費	目安の金額	課長	4	人
						令和3年度当初予算額(B)	3,189,531 千円		係長	7	人	
						増減額(A-B)	-704,667 千円		職員	10	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				首都圏企業誘致推進事業	首都圏に本社を置く優良企業に対し、迅速かつ積極的な誘致活動を行う。	—	4,936	4,992	56
2	○			企業立地促進事業	本市への企業立地を促進するため、企業向けのパンフレットやホームページ等による情報発信、立地企業と地元企業との交流会開催などを行う。	・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業訪問活動が十分に実施できなかったため、令和4年度は企業との接点を増やすことでさらなる立地促進を図る。	22,629	18,336	-4,293
3				産業振興一般事務（企業立地支援課）	企業誘致を進めていく上での諸活動経費（一般事務費）	—	2,596	2,466	-130
4				企業立地促進補助金	市内立地（新設・増設）企業に対し、一定の雇用を創出する場合に、補助金を交付する。	・市外企業の誘致促進に向けた補助メニューの新設を検討する。	1,570,000	1,570,000	0
5		○		本社機能等移転促進補助金	地方創生による本社機能の地方移転の機運をとらえ、企業の立地を支援するため、補助金を交付する。	・令和3年度で事業終了（「企業立地促進補助金」に統合）	478,000		-478,000
6				企業立地促進資金融資	市内において工場、事業所等を新增設しようとする企業に対し、低利な融資を提供することで、企業立地を促進し、本市経済の振興及び雇用の創出・拡大を図る。	・引き続き、市内において工場等を新增設する企業に対し、融資制度の提供による支援を行う。	495,000	110,000	-385,000
7	○			航空機産業誘致促進事業	本市における航空機産業の振興を図るため、福岡県と共同で航空機関連企業の誘致に取り組むとともに、地元企業の新規参入、事業拡大に向けた支援を行う。	・令和3年度は、コロナ禍で航空産業全般が低迷し、新規参入や受注を目指す企業にとって厳しい事業環境であった。令和4年度は、航空機需要の回復期を見据え、福岡県と連携した誘致活動や地元企業支援に継続して取り組む。	2,655	2,000	-655
8		○		響灘エリア誘致推進事業	若松区響灘エリアの優位性を活かし、製造業をはじめとした企業の集積を促進するため、未利用地への積極的な誘致活動を行う。	・令和3年度で事業終了（<新>成長ものづくり産業誘致推進事業として発展的解消）	2,000		-2,000
9	○			自動車産業取引拡大支援事業	地元企業の技術力などの情報発信やビジネスマッチングを行う。	・パーツネット北九州による情報発信やマッチング機能の強化を行い、地元企業の支援を実施する。	4,535	3,575	-960

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				次世代自動車産業拠点 化事業	「次世代自動車産業拠点の形成」実現に向け、関連産業の 集積や人材育成等に取組む。	・今後の電動化シフトに備え、地元サプライヤーへの自社技術の再認識と技術力向 上、新製品の提案力強化に係る支援を通じ、北部九州の次世代自動車産業の拠点化を 図る。	3,554	5,109	1,555
11	○			進出IT関連企業への人 材採用支援事業	九州・山口地域の国立12高専を中心に関係構築を図り、そ のネットワークを活用して学内企業説明会などの実施機会 を提供するとともに、マッチングイベント等の実施により 市内外の学生と企業との接点を設けるなど、市内IT企業に 対する伴走型の人材採用支援を行う。	・学校のニーズに応じた学内イベントを開催することで、教員・学生へのPRの機会を これまで以上に獲得するとともに、オフィス見学ツアーや認知度向上イベントの実施 により、市内IT企業での就業環境等を教員・学生に強かにインプットし、就職促進を 図る。	6,000	6,000	0
12	○			オフィスリノベーション 補助金	IT企業等を新規に呼び込むため、また、市内拠点の増設を 促すための受け皿が不足していることから、企業に選ばれる オフィス環境の整備を目的とし、市内オフィスビル等を 改修する者に対して補助金を交付する。	・新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない中で、安心して働けるオフィスへの リニューアルが必要なオフィスビルは依然として多いことから、補助対象期間を延長 する。	10,000	30,000	20,000
13				本社機能移転等PR事業	本社機能等の移転のため、本市の優位性であるBCP等のPRを 行い、企業誘致を図る。	—	3,701	3,515	-186
14				オフィス立地促進補助 金	市内オフィスビルへ事業所を設置（賃借）する企業へ補助 金を交付する。	・市が重点的に誘致する企業に対して、進出のインセンティブとなる補助金の補助率 を緩和する等、補助金を拡充することで更なる企業誘致に繋げる。	110,000	180,000	70,000
15				産業支援団地維持管理	サイエンスパーク及びテクノパーク八幡西（調整池）の維持 管理を行う。	・引き続き、適正な維持管理に努める。	1,225	2,171	946
16				牧山工業団地整備事業	戸畑枝光線牧山ランプの構造計画変更に伴い不要となった 道路用地を活用し、本市の物流や産業振興に資するため、 産業用地として分譲を行うため、土地開発基金から買戻し を行う。	・令和3年度に土地開発基金からの買戻しが完了し、産業用地として分譲予定である ことから、令和4年度の予算計上は見送る。	61,632	0	-61,632
17	○			北九州空港跡地産業団 地整備事業	北九州空港跡地の一部を、地域への波及効果の高い自動車 関連企業を中心とした新産業拠点とするため、産業団地の 整備を行う。	・企業立地を進めていくため、関係部局と調整を図りながら造成工事等を進める。	181,295	204,934	23,639
18				北九州臨空産業団地整 備事業	北九州空港及び東九州自動車道の整備により、立地ポテン シャルが上昇する小倉南区朽網地区に、生産物流機能を持 った企業の集積を図るため、産業用地の整備を行う。	・分譲地（貸付含む）は平成28年度に完売したため、地区内の維持管理に努める。	5,000	1,511	-3,489
19				サイエンスパーク整備 事業	産業用地整備特別会計で購入したサイエンスパークの一部 について、企業ニーズに応じた用地を確保するため、必要 に応じた整備を行う。	・企業立地を進めていくため、積極的に当該用地の紹介を行う。	164,059	169,364	5,305
20				公債償還特別会計繰出 金	公債償還に関する経費	—	15,714	119,891	104,177

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
21	○			自動運転関連産業推進事業	自動運転分野への市内企業の参入、研究開発施設の本市への立地並びに自動運転技術を活用した新ビジネス等の創出等を図る。	・令和3年度に設立した北九州自動運転推進ネットワークの総会及び勉強会を実施するとともに、自動運転実証実験の事前調査を実施する。	4,000	4,000	0
22				次世代スマートビル建設促進事業	地方進出を考える企業から選ばれる、魅力あるオフィスの新規供給を促すため、感染症予防・デジタル化などの機能を実装する、一定規模の賃貸用オフィスを整備する事業者に対し、ビルの建設費及び解体費を補助するもの。	・令和4年度においては、補助金自体の執行見込はないものの、ディベロッパー・不動産オーナー等に対する広報PRのほか、補助金対象ビルへの企業誘致活動を実施することで更なる企業誘致に繋げる。	10,000	0	-10,000
23	○			おためしサテライトオフィス推進事業	本市で新たなサテライトオフィスをはじめとした事務所などの設置を検討する首都圏のIT企業等に対し、検討に係る経費（旅費、宿泊費、コワーキングスペース）の支援と、サポート体制の構築により、本市での企業のマーケティングを伴走型で支援し、首都圏からのサテライト拠点誘致につなげるもの。	・これまでの実績、企業ニーズを踏まえ、令和4年度は、①重点企業枠の新設、②ハッカソンイベントの開催（即戦力人材マッチング）、③市内企業との交流会の開催を実施し、より効果的な事業実施を目指す。	30,000	25,000	-5,000
24		○		オンラインを活用した高度人材採用支援事業	全国約5,000人超の高専生及び高専卒業生に対してキャリア支援を行う民間企業との連携により、より広く高専生に向けてアプローチする手段を開拓し、「学生・OB」との関係構築による高度エンジニア人材の確保・中途人材採用支援のツールを提供し、本市採用支援の優位性を高める。	・今後の人材採用支援施策においてはオフライン・オンラインを併用して取り組むことが必須であり、より一体的に実施するため事業を統合する。	1,000		-1,000
25		○		<新>”学び直し”による中途IT人材の育成・採用支援事業	IT業界への就職希望者を主なターゲットとして、人材の掘り起しとリカレント教育による人材育成を図るとともに、企業とのマッチングを行うことで、中途IT人材分野の採用支援を強化する。	・本市ではこれまで、主に理工系の新卒者を対象とした伴走型の人材採用支援を進出企業に対して実施してきたが、「IT適性があり一定のスキルを有した中途人材」の採用ニーズも強いことから、企業が求めるIT領域に応じたりカレント教育を実施し、市内企業への就職促進につなげる。		12,000	12,000
26	○	○		<新>成長ものづくり産業誘致推進事業	国の施策や経済情勢を捉えた製造業の設備投資の流れを市内に呼び込むため、本市進出によるCO2排出量の削減効果が見える化して活用することで、さらなる企業立地につなげる。	・今後、企業の新たな設備投資にはカーボンニュートラルの視点が必須となることから、脱炭素の観点で本市にどのような優位性があるのかを分析するための調査を実施し、それらを活用した企業誘致に取り組む。		3,000	3,000
27		○		<新>アフターコロナ等を踏まえた企業誘致推進事業	新型コロナウイルス感染症をはじめ、脱炭素やDXなど企業を取り巻く環境が大きく変化する中、時代に則した企業誘致を進めるため、本市の産業構造等に関する基礎調査を行い、効果的な企業誘致の推進を図るもの。	・本市の産業構造等に関する基礎調査を行い、今後の誘致活動に向けた基礎資料を作成することで、効率的な企業誘致の推進を図る。		7,000	7,000

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 物流拠点推進室		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・物流拠点構想に掲げた施策の推進 ・集約拠点化に向けた支援 ・産学官連携による物流施策の推進体制の構築 			
	課長名	池田 弘幸		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	41,118 千円
						令和3年度当初予算額(B)	118 千円
						増減額(A-B)	41,000 千円
		人件費	目安の金額		課長 1 人		
			29,000 千円		係長 1 人		
					職員 1 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○	○		<新> 物流活性化推進事業	本市の物流の活性化に向けて必要な施策の調査研究を行うほか、物流事業者や荷主企業等、有識者、行政の産学官で構成する「(仮称)物流懇話会」を立ち上げ、物流業界における課題等をテーマとしたシンポジウムや勉強会を開催し、本市の物流活性化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・物流は企業活動に必須のものであることから、民間事業者が物流施策のプレイヤーとなることが多い。しかし、現状で各輸送モードの物流事業者や荷主企業が一体となった業界団体は存在しない。また、民間事業者、有識者、行政が物流施策の推進にあたり連携する場も存在しない。 ・そのため、産・学・官で連携し、物流施策を推進していく体制として、「(仮称)物流懇話会」を設立する。 		7,000	7,000
2	○	○		<新> 九州発貨物の集約拠点化支援事業	本市が有する陸海空の物流インフラを活用し、物流の活性化を促進するため、九州の発貨物を本市に集積させる取組みを支援する。支援策の第一弾として、北九州市中央卸売市場内における農産物を集約した首都圏向けフェリー輸送に対して、必要となる経費の一部を補助することで、農産物の集約拠点化を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市は、陸・海・空の物流インフラが充実しており、企業がニーズに応じてインフラを選択して輸送出来ることに強みがある。また、本市は本州と九州の結節点に位置し、地理的特性として物を集約し易い。一方で、トラックドライバーの労働力不足や労働規制強化が進んでおり、長距離の幹線輸送については輸送の効率化や輸送モードの切替え等を行うべき転換期が到来している。 ・そこで、本市が有する陸海空の物流インフラを活用しつつ、物流が抱える課題に対応しながら本市物流の活性化を促進するため、九州の発貨物を本市に集積させる民間の取組みを支援する。 		34,000	34,000
3				物流振興一般事務	物流振興に関する一般事務費	—	118	118	0

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 産業イノベーション推進室		重点項目 ・地元企業の高度化・新製品開発支援のため、研究開発の促進を行う ・外郭団体の事業や組織の更なる選択と集中を図る一方、戦略的分野（ロボット、情報産業）を中心に研究開発を推進するとともに、その成果が実用化・事業化へつなげるような科学技術イノベーションの好循環を創る。
	課長名	森永 康裕	
		事業費	人件費
		令和4年度当初予算額(A)	2,003,769 千円
		令和3年度当初予算額(B)	2,188,868 千円
		増減額(A-B)	-185,099 千円
		目安の金額	
		125,500 千円	
		課長	2 人
		係長	5 人
		職員	7 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業	内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、産業用ロボットの研究開発を行うとともに、市内企業へのロボット等の導入支援体制を拡充し、生産性向上を支援する。	・内閣府の地方大学・地域産業創生交付金を活用し、次世代ロボットの研究開発を加速化するとともに、中小ものづくり企業へのロボット等導入支援を強化する。	176,000	249,000	73,000
2	○			生産性向上のためのDX・デジタル化推進事業	市内企業のDXを推進するため、「北九州市DX推進プラットフォーム」の取組みをさらに強化するとともに、DX実践に向けた市内企業への補助を拡充する。	・市内企業の労働生産性を高めるため、DX推進プラットフォーム、デジタル化サポートセンター、DX補助金の3事業について、デジタル化サポートセンターの専門家派遣とDX補助金の伴走支援を連携させるなど、より効果的な連携の上、支援内容の充実を図るもの。	70,000	100,000	30,000
3				学術研究都市管理運営事業（施設改修工事）	北九州学術研究都市の老朽化した各建物・設備等の改修工事を行う。	・開設から20年が経過し、各建物、設備が老朽化している。 ・至急対応が必要な箇所について改修を行う。	4,300	66,000	61,700
4				学術研究都市「大学・関連施設地区」拠点化事業	学研2期の大学・関連施設地区の市有地の処分を行い、大学・研究機関等の集積を図る。	・大学・研究機関等の誘致を積極的に行い、区画に対するニーズ等を踏まえ、分譲用地の早期売却に努める。	529,927	249,359	-280,568
5				公用車リース経費（産業イノベーション推進室）	学術研究都市にある産業イノベーション推進室分室用に、公用車のリース契約を1台行うもの。	—	169	196	27
6	○			<新>学術研究都市20周年記念事業	学術研究都市が令和3年度で満20周年を迎えたことを記念し、地域住民も交えた記念事業を実施するもの	—		3,000	3,000
7	○			学術研究都市留学生宿舍管理運営事業	「アジアの中核的な学術研究拠点」を目指す北九州学研都市に、海外からの優秀な人材を受け入れるため、生活の基盤となる住宅の整備を図るもの。	・適切な施設管理を行うことで経費を削減し、引き続き留学生に対し住宅面での支援を行う。	102,780	102,780	0
8	○			学術研究都市管理運営事業（債務負担）	北九州学術研究都市の各種機器、システムのリース料	・半導体機器のリース契約については、可能な限り再リースを行うことで契約金額の削減を行う。	49,687	49,687	0
9				学術研究都市管理運営事業（指定管理）	民間等のノウハウを最大限に生かすことにより、利用者の多様なニーズに応え、市民サービスの向上を図り、多様で効果的な施設運営を図るもの。	・学術研究都市の一体的な運営を行うため、施設の管理運営、産学連携の推進を行う。	742,030	742,118	88

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				産業振興一般事務（産業イノベーション推進室）	一般事務費	—	8,596	8,596	0
11		○		<新>ロボットテクノロジー推進事業	本市のロボット産業拠点形成と地域産業の生産性向上に資する事業を実施する。また、市内中小製造業の生産現場へのロボット導入を進めることにより、市内のものづくり企業の生産性の向上や競争力の強化を図る。	・引き続き、ロボット産業の拠点形成を進めるとともに、生産現場へのロボット導入等を進めるなど、市内ものづくり企業の生産性の向上や競争力の強化を図る。		40,546	40,546
12		○		研究開発プロジェクト支援事業	市内企業の技術力の強化及び新事業の創出を図るため、産学連携による研究開発の取組みを支援する。	・継続的に大学・企業における研究開発のプロジェクトの支援を行う、また、地方大学・地域産業創生交付金を活用し、生産性の向上につながる研究開発についても支援を行う。	52,790	50,900	-1,890
13		○		学術研究拠点推進事業	学術研究都市の一体的な管理運営、大学間連携、留学生支援、産学連携、地域連携、情報通信産業の振興及び中小企業支援等を推進する（公財）北九州産業学術推進機構に対し、運営費補助金を交付する。	・会議や企業訪問のオンライン化、職員のテレワークの推進等、新しい生活様式を踏まえた「働き方の新しいスタイル」の推進や事業の見直しを行う。	344,719	327,983	-16,736
14				高等教育研究機能充実事業（学研都市）	高等教育機関の充実及び機能強化を図ることにより、産学連携を通して既存産業の強化と新産業創出につなげ、北九州学術研究都市の整備と共に幅広い産業振興を図る。	・本市の産業を支える高度人材を育成する。	14,109	13,604	-505
15		○		ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業	内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、産業用ロボットの研究開発を行うとともに、市内企業へのロボット等の導入支援体制を拡充し、生産性向上を支援する。	—	27,000	0	-27,000
16				学術研究都市管理運営事業（機器・設備更新）	北九州学術研究都市内の産学連携施設、共同利用施設における機器・設備の中で老朽化しているものについて更新を行うもの。	—	19,800	0	-19,800
17		○	○	ロボットテクノロジーを活用したものづくり力強化事業	市内中小製造業の生産現場へのロボット導入を進めることにより、市内のものづくり企業の生産性の向上や競争力の強化を図る。	・令和4年度より重点産業振興事業と統合し「ロボットテクノロジー推進事業」とした。	37,574		-37,574
18		○	○	重点産業振興事業	本市のロボット産業拠点形成と地域産業の生産性向上に資する事業を実施する。また、福岡県とのロボット産業をテーマとした広域連携を促進する。	・令和4年度よりロボットテクノロジーを活用したものづくり力強化事業と統合し「ロボットテクノロジー推進事業」とした。	9,387		-9,387

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 農林課		重点項目 ・農林業の生産基盤の整備 ・担い手の育成 ・多面的な価値の創出							
	課長名	藤島 研二郎		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	909,784 千円	人件費	目安の金額	課長 2 人
						令和3年度当初予算額(B)	691,088 千円		係長 4 人	
						増減額(A-B)	218,696 千円		職員 13 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			中山間地域・生産環境 保全支援事業	一定傾斜以上の中山間地域内農地を保全する集落に対する 交付金及び地球温暖化や生物多様性に保全効果の高い営農 活動を行う農業者に対する交付金制度。	・国事業を活用して、農業・農村の多面的機能の維持・発揮のために行われる地域活 動や営農活動に対して支援を行う。	15,651	15,582	-69
2				多面的機能支援事業	農業者と一般市民による活動組織が取組む農村環境の保全 活動に対する交付金制度。		15,876	15,940	64
3				農地中間管理事業	農地中間管理機構や人・農地プランを活用して、担い手へ の農地集積、集約化を進める。	・国の政策目標に従い、農地中間管理機構や人・農地プランを活用して、担い手への 農地集積、集約化を進める。	2,475	2,450	-25
4	○			人づくり担い手対策事 業	新たな農業従事者の育成や、営農組織・認定農業者等への 経営診断及び活動支援などを行い、農業分野における担い 手を確保・育成する。	・新たな農業従事者の育成や、営農組織・認定農業者等への経営診断及び活動支援な どを継続するとともに、関係機関との協働の強化を進める。	17,129	23,106	5,977
5	○			農作物生産振興対策事 業	安全・安心な市内産農作物の生産振興の消費拡大を図るた め、関係機関と協力し、農業者の育成や市民に対して消費 宣伝等を行うもの。	・体験学習の実施に際し、支援を行う。	1,261	1,101	-160
6				経営所得安定対策等推 進事業	農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の 向上と農業の多面的機能を維持するため、経営所得安定対 策の実施に必要な、地域段階の推進活動の必要経費を 助成するもの。	・国の政策目標に従い、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の向 上と農業の多面的機能を維持するため、経営所得安定対策事業の地域段階の推進活動 を継続する。	5,000	5,000	0
7				都市型園芸農業推進事 業	地域特性を活かした野菜、花き、果樹等の生産量の増大と 生産性の向上を図るとともに、農地の有効利用促進を図る ため、都市型園芸に必要な生産・出荷の整備に対する助成 を行うもの。	・認定農業者等の経営改善のため事業に取り組む。	8,239	9,590	1,351
8				野菜価格安定・流通対 策事業	市内産野菜の安定的市場供給の促進のため市場価格低迷時 に価格補てんを行うもの。	・契約野菜の生産振興に取り組み、生産量の増加とともに契約野菜を利用した農業者 の経営改善を目指す。	9,178	8,173	-1,005
9				農業経営融資事業 (貸付・利子補給)	農業協同組合が農業者に貸し付ける資金の一部を預託。ま た、農業改善のための資金の利子補給を行うもの。	—	3,961	3,961	0
10				活力ある高収益型園芸 農業確立対策事業	生産基盤整備のための助成を行い、生産面積の拡大と生産 性の向上を図る。	・農業者の所得向上のため、農業者からの要望が多い施設整備に対し支援を行うこと で、本市の誇るブランド野菜等の生産拡大と生産性の向上を目指す。	4,900	64,193	59,293

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				未利用施設等財産利活用事業	未利用施設の利用推進を行うとともに、利用が見込めないものについては、建物の解体撤去後、市有地の売却を行い、公有財産の効率的利用を図る。	・建物解体の合意が取れたものから順に解体・撤去を行い、更地になった市有地の売却を行っていく。	13,000	20,000	7,000
12				土地改良施設維持管理適正化事業	農業水利施設（土地改良施設）の整備・補修を計画的に実施する。	・農業用施設の適切な管理を行い、管理コストの削減を図る。	17,284	10,682	-6,602
13			農業用施設財産維持管理事業（公共）	ため池や農道・水路などの市有農業用施設の維持補修等を行う。	49,500		49,500	0	
14			農業用施設財産維持管理事業（その他）	ため池や農道・水路などの市有農業用施設の維持管理を行う。	88,318		97,334	9,016	
15				農業用施設等管理事務	八幡西区木屋瀬地区を灌漑する「直方市・北九州市岡森用水組合」の規定に基づき、負担金を支出する。	・岡森用水の適切な管理を行う。	11,889	12,175	286
16				農家年長者創作活動施設管理運営費	農家年長者創作活動施設（島郷親和苑）の維持管理を行う。	—	300	300	0
17				市有ため池緊急対策事業	市有ため池の侵入防止フェンスの改修等を行う。	・計画的に市有ため池への侵入防止フェンス設置を進め、安全確保を図る。	5,450	5,450	0
18				農業用基金積立金	「農業用施設維持管理基金」に運用益や県からの維持補修費を積み立てる。	—	200	200	0
19	○			有毛浜田地区ほ場整備事業	若松区有毛浜田地区において、農業の生産基盤としては場整備を行い、耕作放棄地の解消や耕地集積・集約化を進め、担い手の確保や稲作等から高収益作物への転換を行う。	・事業の実施に向け、国や県との協議に向けた基本設計の修正作業を行う。	0	0	0
20				農村環境整備事業	一定規模以上の農業用施設の改良工事を、県の補助を得て、計画的に行う。	・農道や農業用施設については、農家からの要望に基づき、緊急性や効果を考えながら整備する箇所を絞り込み、当年度実施するもの、次年度以降実施するもの、将来補助事業として計画するものなど仕分けを行いながら対応している。	4,050	0	-4,050
21				土地改良事業	農道やため池、水路、井堰などの農業用施設について、小規模な維持補修、改良工事を行う。		33,787	36,999	3,212
22				樋門管理事務	国土交通省が設置した笹尾川・黒川水系の洪水防止用樋門等の操作・点検を行う。	—	10,970	10,886	-84
23				鉱害対策事務	休廃止鉱山の鉱害防止活動を支援する。 石炭鉱害の申請を受け付ける。	—	1,074	847	-227
24	○		○	ため池緊急防災体制整備促進事業	国による農村地域防災事業等の制度が拡充されたことから、これらの制度を有効に活用し、ため池の安全性の向上を図る。	・「ため池防災整備事業」及び「ため池防災管理事業」に分け、ため池の安全性の向上を図る。	97,100		-97,100

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
25				農業用施設水害防止対策事業	堰や水門が原因となっている水害を防止するため、必要な改修等を講ずる。	・浸水被害等の拡大を防ぐため、堰の改修を行う。	0	0	0
26		○		ため池整備事業	決壊による水害その他災害から周辺の区域への被害の防止を図る。	・「ため池防災整備事業」に統合する。	20,000		-20,000
27	○			ため池劣化状況評価等実施事業	「防災重点農業用ため池に係る防災工事の推進に関する特別措置法」に基づき、劣化状況評価等を実施し、必要な防災工事に着手する。	・防災重点農業用ため池の劣化状況評価等を実施し、その結果により、必要に応じて地震・豪雨耐性評価を実施する。	15,500	96,500	81,000
28	○			特用林産振興事業	高品質な特用林産物（たけのこ等）の生産基盤整備のため、竹林改良、作業道整備、設備導入等を行う。	・生産振興に取り組む箇所や団体を掘り起こし、特用林産物の生産拡大を図る。	1,800	1,800	0
29				市営林事業（補助・市単）	市有財産である市営林の人工林の経済的な価値を高めるとともに、森林の公益的機能を最大限に発揮させるため、適正な管理を行い、健全な森林の育成に努める。	・間伐等の手入れを行い、森林の健全な育成に努める。 ・市営林の立木評価を行い、市営林の更新を進める。	3,290	3,290	0
30	○			荒廃森林整備事業	長期にわたって手入れが行われずに荒廃したスギ林、ヒノキ林において、強度間伐を実施し、公益的機能を長期に発揮できる森林を目指す。 森林公園等において、展示効果の高い森林の整備を実施する。自伐林家の体制構築のための自伐用機材導入に対し助成を行う。	・県へ事業メニューの拡充を提案し、柔軟な事業実施を図る。	75,000	75,500	500
31	○	○		<新> 荒廃森林整備事業（拡充）	長期にわたって手入れが行われずに荒廃したスギ林、ヒノキ林において、強度間伐を実施し、公益的機能を長期に発揮できる森林を目指す。 森林公園等において、展示効果の高い森林の整備を実施する。自伐林家の体制構築のための自伐用機材導入に対し助成を行う。	・県へ事業メニューの拡充を提案し、柔軟な事業実施を図る。		15,000	15,000
32				地域林業振興事業	林業者を確保するため、森林組合の育成強化等を図る。また、私有林の造林や保育作業を行う林業事業体、森林整備等の活動を行う団体への支援を行い森林の健全な育成を図るもの。	・森林組合に対して、技術研修会等への積極的な参加や林業者の確保について啓発する。 ・平成30年度から森林整備等の活動を行う団体への支援を行う。	1,470	1,504	34
33				市民の森等管理事業	旧林業振興センターの管理や香月市民の森、足立山森林公園、高蔵山森林公園、血倉・帆柱環境林を市民に快適に利用していただくため、広場、遊歩道等施設の適正な管理に努める。	・維持管理については、令和3年度と同様の手法で執行するとともに、資産のさらなる有効活用に努める。 ・森林公園等については、現地調査を行い、整備範囲に優先順位をつけ、予算の範囲内で計画的に執行する。	6,324	6,324	0
34				平尾台防火帯設置事業	平尾台地区の林野火災を防止し地域住民の財産保全及び安全を確保するため、山林及び住家、諸施設への類焼防止に必要な防火帯設置に対して助成するもの。	・市費の削減を図るため、国や県の補助メニューの活用などについての検討を継続する。	9,700	9,700	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
35				林道整備事業	森林の持つ公益的機能の増進、林業における生産性の向上と山村地域の振興・生活環境の改善を図るため林道の開設・改築を行い、維持管理に努める。	・市費の削減を図るため、国や県の補助メニューを積極的に活用し、林道開設等の整備を進めるとともに、予算の範囲内で効率的に維持管理に努める。	43,200	43,200	0
36				林業管理事務	私有林の育成指導、保安林、治山事業、林地開発、森林計画等に係る業務等の林業振興全般に要する事務費及び北九州自然休養林巡視業務、負担金(3団体)	・効率的な業務の執行に取り組む。	3,581	3,242	-339
37	○			竹循環システム支援事業	放置竹林の解消を図るため、竹林の他樹種への転換、竹材を買い取り販売する制度の構築、竹林資源量把握調査に基づく事業に取り組む。	・竹材利用を進めるための集材システムを維持するとともに、企業や大学と連携しながら、新たな竹材の活用方法等の検討を進める。	3,615	3,531	-84
38				畑(第2)線林道災害復旧事業	平成30年の豪雨で被害を受けた当該地区の復旧事業を行う。	・国県の補助金を活用し、早期の復旧を目指す。	6,000	3,000	-3,000
39	○			森林環境保全事業	パリ協定における温室効果ガス削減の達成に向け森林吸収源の拡大や森林整備等を行う。	・森林所有者の意向調査等を踏まえ、木材を産出する森林の集約、団地化による木材生産を行うとともに造林・保育を進め、森林資源の循環利用を図る。 ・温室効果ガスの吸収源としての市営林を目指し、CO2吸収の実態を把握するための調査を実施する。	32,046	58,967	26,921
40	○			森林機能向上事業	パリ協定における温室効果ガス削減の達成に向け森林吸収源の拡大や森林整備等を行うための林道等の改修、整備を行う。	・森林整備の基盤となる林道整備として、特に豪雨災害を予防する観点での維持・補修を行う。 ・市民が森林とふれあう森林公園の整備や総合農事センターで木材を使用した施設整備を実施する。	35,000	51,325	16,325
41				農政一般事務	農業行政の総務調整等	—	7,594	7,000	-594
42	○			地元いちばん・地産地消推進事業	地産地消を推進するため、農林水産物の消費宣伝、地産地消サポーター活動の充実などを行う。本市で生産される品質が優れ評価の高い産物をブランド産品(特産品)として、そのブランド力を向上させ、消費拡大、生産振興を図る。	・コロナ禍でも開催可能なリモートによる見学会の検討をはじめ、ホームページや、SNS、マスコミ等を通じて市内農林水産物の情報発信を積極的に行い、認知度向上を図り、地産地消を推進していく。	5,080	3,636	-1,444
43				公用車リース経費	農林水産部が所有する公用車の更新に伴う経費	—	296	296	0
44	○			未来の農業スマート化推進事業	国の進めているスマート農業を本市の有する最先端の工業技術を活用して、種々の課題を解決しながら新たな農業の展開を進める。	・国の「スマート農業加速化実証プロジェクト」事業を活用して市内農業の課題解決を図る。	5,000	60,000	55,000
45	○	○		<新>ため池防災整備事業	国による農村地域防災事業等の制度を有効に活用し、ため池の安全性の向上を図る。(ため池の整備及び統廃合)	・防災重点農業用ため池に対する防災減災を効果的にかつ速やかに実施する。		29,400	29,400

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
46	○	○		<新>ため池防災管理事業	国による農村地域防災事業等の制度を有効に活用し、ため池の安全性の向上を図る。(ハザードマップ等ソフト施策)	・防災重点農業用ため池に対する防災減災を効果的にかつ速やかに実施する。		29,000	29,000
47		○		<新>農業用水路等施設長寿命化事業	農業用施設の長寿命化計画を策定する。	・施設の点検補更新について機能保全計画を策定し、将来にわたる施設の延命化、更新費用の平準化、コストの抑制を図る。		5,000	5,000
48		○		<新>農地の大区画化・集約化推進事業	担い手の生産性の向上を推進するため、地域の話し合いを通じた将来計画の策定や、畔(農地間の区切り)の除去などの農地の大区画を支援する。	・地域の農地の将来計画の策定や、農地の集積・集約化を行うための畦畔除去等の作業に対して助成を行い、担い手の経営規模の拡大やスマート農業の推進を図る。		7,300	7,300
49		○		<新>豊かな実りを育む農地再生事業	北九州市農業委員会が遊休農地(現に耕作されておらず、今後も耕作される見込みがない農地)と認定した農地を耕作可能な状態まで復旧し、翌年度以降耕作を行う農業者を支援する。	・遊休農地を解消するための作業に対して助成を行い、生産力の低下、有害鳥獣や害虫の発生等の問題解決を図る。		1,800	1,800

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 水産課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・生産基盤の整備 ・担い手の育成及びビジネス化の推進 ・情報発信と連携促進 ・危機管理体制の確立 					
	課長名	松田 聡		コスト	事業費	人件費	目安の金額	課長 1 人	係長 3 人
			令和4年度当初予算額(A)	522,014 千円					
			令和3年度当初予算額(B)	510,041 千円					
			増減額(A-B)	11,973 千円					
					109,000 千円				

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			つくり育てる漁業推進事業	種苗放流事業等に対する助成。	・種苗放流など里海づくりを推進し、水産資源を増産する。	46,824	46,824	0
2				水産業振興資金融資事業	市内の漁業者に漁業経営上必要な資金を融資。	—	4,000	4,000	0
3				漁業施設改善整備事業	共同利用施設等の整備に対する助成。	・6次産業化グループの施設整備に対する助成を行う。	1,100	1,000	-100
4				水産振興事務	水産振興にかかる協議会の負担金等。	—	55	45	-10
5				水産業成長戦略推進事業	将来の漁業の担い手の確保と育成を図るとともに、水産物のブランド力の維持強化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成対策事業を推進する。 ・市内産水産物のブランド力を強化する。特に、豊前海一粒かきをPRするため、「かき焼き祭り」を開催する。 ・安全安心な水産物の供給を推進する。 	6,317	6,040	-277
6	○			水産環境整備事業	藻場や干潟等の保全や再生を行うと同時に、漁場環境を回復させることにより、水産物を将来にわたり安定的に供給するとともに、漁業経営の安定化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・藻場や漁場の造成など生産基盤の整備を重点的、計画的に行い、里海づくりを推進する。 ・漁場の維持・回復保全活動を支援する。 	100,000	99,800	-200
7	○			離島漁業振興強化事業	持続的再生可能な漁業活動を推進するため、水産物の販売・生産面で不利な条件下に置かれている離島の漁業活動を支援し、周辺海域の環境保全や再生を行いながら離島漁業集落の経営の安定化を図る。(種苗放流事業等に対する助成。)	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流など里海づくりを推進し、水産資源を増産する。 ・漁業生産・加工・流通・交流等に関する取組の支援を行う。 	8,508	8,508	0
8				スマート水産業推進事業	これまで長年の経験や勤で行ってきた漁業の効率化を図るため、大学と連携して最新の漁場や水産資源に関するデータを収集し漁業者に提供することで、漁業の生産性を向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は音響探知機によるデータの収集を継続するとともに、実際に調査海域で操業する漁業者に漁獲された魚種や漁獲量等の情報提供を依頼しGIS上の位置情報等と結び付けることを開始する。 	5,000	5,000	0
9		○		<新>水産物販売促進支援事業	漁協の水産物直販関連施設内に市内産水産物販売スペースを設け、市内漁協の水産物や加工品の販売を支援することにより漁業経営の回復やコロナ禍からの復活への原動力とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による漁業経営の改善対策として、市内漁業者の水産物や水産加工品の販売を支援することで、コロナ禍における漁業者の経営回復及びコロナ禍からの復活を目指す。 		4,000	4,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				釣り桟橋維持管理事業	脇田海釣り桟橋の維持管理。	—	7,945	7,945	0
11				馬島給水事業管理運営費	上下水道局が行う馬島給水事業に対し、管理運営にかかる経費の一部を負担。	—	3,072	3,094	22
12				海岸漂着物処理推進事業	藍島、馬島の海岸に漂着したゴミの回収及び離島海岸清掃ボランティア団体への補助。	—	3,856	3,579	-277
13				漁港照明灯LED化事業	北九州市環境モデル都市計画に基づき、漁港照明灯全数をLED化する。	・脇之浦漁港の照明施設のLED化を行う。	3,500	2,500	-1,000
14				釣り桟橋機能保全事業	脇田海釣り桟橋の施設の長寿命化を目的に、機能保全計画を策定し、保全工事を行う。	・機能保全計画に基づき計画的に補修・改修を行う。	4,000	1,000	-3,000
15				漁港維持管理事業(公共)	漁港施設、脇田海水浴場、多目的広場等の維持管理。	・施設の老朽化に伴う補修工事を行う。	30,000	30,000	0
16				釣り桟橋維持管理事業(維持補修費)(公共)	脇田海釣り桟橋の維持補修。	—	763	763	0
17				フィッシャリーナ維持管理事業(公共)	脇田漁港フィッシャリーナの維持管理。	—	19,500	19,500	0
18				漁港維持管理事業(その他)	漁港施設、脇田海水浴場、多目的広場等の維持管理。	—	3,724	3,784	60
19				釣り桟橋維持管理事業(維持補修費)(その他)	脇田海釣り桟橋の維持補修。	—	30	30	0
20				フィッシャリーナ維持管理事業(その他)	脇田漁港フィッシャリーナの維持管理。	—	407	360	-47
21				水産物供給基盤整備事業(単独)	国の補助が適用できない水産基盤の整備のうち、必要不可欠なものを市単独で整備する。	・漁港施設の維持保全を行う。	9,000	9,100	100
22	○			水産物供給基盤整備事業(補助)	漁業活動の効率化や防災機能の強化を図るため、国の補助による水産基盤の整備を行う。	・漁港の航路・泊地施設の機能保全を図るため浚渫工事、調査・設計を行い、漁業活動の円滑化に取り組む。	185,000	179,500	-5,500

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
23				繰出金（漁業集落排水）	漁業集落排水特別会計への一般会計繰出金。	—	30,840	39,942	9,102
24				漁業集落排水管理運営事業	漁業集落排水処理施設の維持管理。	・島民の生活基盤を維持するため、施設の老朽化に伴う補修工事を行う。	17,960	27,076	9,116
25				水洗便所改造助成貸付事業	汲み取り便所を水洗便所に改造する際に、助成や貸付を行う。	—	420	420	0
26				繰出金（公債償還）	漁業集落排水処理施設の整備にかかる公債償還。	—	17,220	17,204	-16
27				予備費	漁業集落排水特別会計の予備費。	—	1,000	1,000	0

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 鳥獣被害対策課		重点項目	・鳥獣被害対策に関する危機管理体制の確立						
	課長名	柳川 尚孝		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	21,470 千円	目安の金額	課長	1
令和3年度当初予算額(B)			19,436 千円			人件費	29,000 千円		係長	1
				増減額(A-B)	2,034 千円					職員

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			有害野生鳥獣被害対策事業	イノシシ・サルなどの野生鳥獣による市街地や農作物被害に対応するため、わなや銃による捕獲や追払いのほか市民相談や現地対応、市民啓発等を実施する。	・被害対策の効果が認められた対策を継続していく。	11,200	10,927	-273
2				農作物等鳥獣被害防除対策事業	農作物へのイノシシや野鳥などの野生鳥獣対策を行う。	・被害対策の効果が認められた対策を継続していく。	5,133	5,006	-127
3				『森と畑を守る』シカ対策事業	新たに有害野生鳥獣対策が必要となるシカの被害防止対策を行う。	・シカの密度が増えないよう、捕獲体制を強化する。	827	661	-166
4				有害鳥獣対策車両リース事業	鳥獣被害対策課専用車両の導入。	—	276	276	0
5				サル被害防止啓発事業	市街地への出没が急増するサルによる被害を防ぐため、看板、チラシを作成し、注意喚起を行う。	・市民に対して、サルに遭遇した場合の注意点などの啓発に努める。	2,000	1,600	-400
6	○			<新>ハナレザル・アライグマ等被害対策事業	近年急増している人なれしたニホンザルによる人的被害や、アライグマ等による農作物被害に対応するため、捕獲わなの設置や被害防止のための調査を実施する。	・サルやアライグマ捕獲用の箱ワナを導入する。 ・サルやアライグマの被害防止のための調査を実施する。		3,000	3,000

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 総合農事センター		重点項目 ・ビジネス化の推進、情報発信と連携促進									
	課長名	山本 隆雄		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	173,135 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和3年度当初予算額(B)	88,271 千円		係長	2	人	
						増減額(A-B)	84,864 千円		職員	5	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				SDGs(持続可能な)農業 支援事業	農事センターの施設を利用して、環境負荷低減に向けた試験研究に取り組む。	・本市で栽培面積や使用量も多い、なすやトマト等で生分解性プラスチックの被覆資材を試用し、使用感や土壌分解性、次期作への影響等について試験を行う。 ・放置竹林由来の竹パウダーの土壌改良資材としての検討を行う。	2,000	1,200	-800
2		○		<新>新規就農者スマート農業チャレンジ事業	総合農事センター内の温室に環境自動制御とAIやICT技術等を導入し、新規就農者や半農半Xでも熟練者並みの栽培を可能とする施設に改修する。それを研修生等に貸与し、スマート農業技術や経営スキルの習得と円滑な就農に繋げるもの。	・総合農事センターにおけるスマート農業の実践環境整備を通して、新規就農者等の就農促進と定着を図る。		8,000	8,000
3		○		総合農事センター管理運営事務(指定管理)	民間事業者の発想を取り入れた創意工夫によって利用者へのサービスを向上させ、集客増加を図るとともに、管理運営に係る経費削減や施設管理を円滑かつ効率・効果的に進めるため、公園区域について指定管理者制度を導入した。	・現行指定管理者の最終年度。情報発信、にぎわいづくり事業の実施等、利用者サービスの向上・充実に努める。	39,306	39,477	171
4		○		総合農事センター管理運営事務(その他)	公園区域について指定管理者制度を導入しているが、試験研究区域については引き続き、都市型農業の振興を図るため農業の新技术の導入などの農業に関する課題解決を行う。併せて、市民に農業を紹介し、市民の学習や理解に寄与する施設として、当センターの管理・運営を行う。	・新たな農業担い手づくりのための研修や、農業者・事業者からの要望に基づく試験栽培等を引き続き実施するもの。	15,408	15,002	-406
5		○		総合農事センター管理運営事務(公共)	公共施設の適正な維持・保全のため、施設の修繕および定期点検等を行う。	・老朽化した電気・水道等のインフラの更新を計画的に行い、利用する市民の安全性・快適性の向上を図る。	3,140	3,140	0
6				総合農事センター施設整備事業	経年劣化により安全性や機能が低下している箇所について、来園者の安全と施設の機能維持のため施設の改修や補修を行う。	・市民に人気が高い農林ショップ(直売施設)の老朽化した木製テラスについて改修工事を行う。(5年計画の5年目)	5,400	2,500	-2,900
7		○		<新>総合農事センター施設整備事業(老朽化)		・建築都市局による調査による危険度リストを基に、緊急度の高い不具合箇所(本館耐震補強、屋根防水、外壁補修)の改修を行う。		80,000	80,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8				畜産公害防止施設設置事業	家畜飼育に伴って生じる水質汚染、悪臭、衛生害虫等の発生を防止するために必要な施設、機械等の設置に対して助成する。	・畜産農家の支援だけでなく、近隣住民の生活環境を保全するという目的に資するため、前年と同額を確保。	650	650	0
9				畜産経営融資関連事業 (貸付金・利子補給)	市内畜産農家に畜産公害防止に必要な資金を融資するとともに、資金借受者に対して利子補給を行い、経営の安定と振興を図る。 小倉牛生産農家に素牛導入資金を融資して、小倉牛の生産振興を図る。	・引き続き、素牛導入への融資を実施し、経営の安定を図る。	6,380	7,032	652
10				健康で元気な「卵・にわとり」づくり事業	市内養鶏農家が実施する鶏伝染病等の発生予防のワクチン接種及び衛生管理に必要な経費の一部を助成する。また、本市のブランド鶏である「小倉ふる里どり」を展示しながら生産し、生産者支援を行いながら、市民へのブランド浸透を図る。	・引き続き、鶏伝染病等発生予防、衛生管理を支援する。 ・現在生産を中止している小倉ふる里どりについては、生産者確保の段階から支援を行い、ブランドの維持を目指す。	1,060	1,051	-9
11				家畜診療防疫事業	市内畜産農家で飼育されている家畜の疾病の予防、治療並びに衛生管理の指導等を実施することにより、畜産経営の安定と振興を図る。	・現在実施している家畜診療業務やワクチン接種等に対する助成の取組により、家畜伝染病等はこれまで発生していない。引き続き取組を実施する。	1,538	1,538	0
12				畜産振興事業	総合農事センターにおいて家畜を研究飼育しながら来園者に展示し、市民への畜産業の知識普及を図るとともに、畜産農家の農業所得の増加、経営の安定化を目指す。	・新たな飼養技術の開発、普及により、高齢者でも継続でき、小規模でも利益を上げられる仕組みを構築する。	13,389	13,545	156

令和4年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 中央卸売市場		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者が市場内敷地で卸売場機能を併せ持ったストックポイント（SP）施設整備に係る工事費について、国の交付金を活用した補助を行う。 ・市場の安全性や機能性を確保するため、緊急性の高い施設改修や更新工事等を実施する。 ・「市民感謝デー」の開催等を通じた市場の認知度向上、市場機能の理解促進、「食」の大切さの啓発及び魚食普及など、卸売市場の取扱高増加に向けた施策を推進することにより、さらなる活性化を図る。 									
	課長名	秋山 英雄		コスト	事業費	令和4年度当初予算額(A)	1,340,600 千円	人件費	目安の金額		課長	1	人
						令和3年度当初予算額(B)	880,200 千円		126,500 千円		係長	4	人
					増減額(A-B)	460,400 千円			職員	10	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				卸売市場再整備事業	施設老朽化や品質管理高度化に対応するため、長期的な視点のもと、市場施設の建替えや長寿命化等の市場再整備を行う。	・SP施設整備に係る工事費について、国（農林水産省）の交付金を活用した補助を行う。	52,749	456,000	403,251
2				市場施設大規模緊急改良	市場機能の向上に向けた施設整備及び施設の老朽化に伴う改修等（大規模かつ緊急的なもの）。	・施設の老朽化に伴い、緊急度E・Dと判定されたもの、法定されたものを重点的に、市場機能の維持や安全対策のための工事を行う。 ・令和4年度の大規模緊急改良では、劣化が著しい水産棟周辺の舗装や側溝の第3期補修工事のほか冷蔵庫棟の冷凍機冷却塔の更新を行う。	42,000	100,000	58,000
3				市場設備一般改良	施設の老朽化に伴う整備（一般工事・点検）	・一般改良では日明特高設備関連工事、高圧受変電設備更新工事及び電力量計の更新工事を行う。	99,500	81,311	-18,189
4				公設地方卸売市場「市民感謝デー」支援事業	公設地方卸売市場（水産物部）で開催される「市民感謝デー」を、開設者として支援する。	・市場活性化、魚食普及を目的に、こどもやその親をターゲットに子供が体験できるイベントを新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を取りながら実施する。	2,200	2,200	0
5				北九州市こども料理王選手権	北九州市卸売市場協会が開催する「こども料理王選手権」の開設者負担金	・北九州市の特産物や旬の食材をテーマとし、料理を通して、こどもの食への関心を高め、生鮮食料品の消費拡大を図る。	1,500	1,500	0
6				卸売市場流通振興事業	集荷対策の強化。食育の推進、人材育成等を目的とする北九州市卸売市場協会「市場みらい塾」への補助金	・産地や出荷団体の市場間競争が激化する中、優良出荷団体からの継続的な出荷確保を図る。 ・市場の強みを生かした食育に関する出前講演を新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を取りながら実施し、魚食普及や生鮮食料品の消費拡大及び中央卸売市場の役割等のPRに努める。	800	800	0
7				市場管理費	市場運営に関する管理費	—	24,200	27,400	3,200
8				施設維持管理費	施設の維持管理費、光熱水費及び保安警備・庁舎管理・電気機械設備保守等に係る委託料など	—	431,624	396,290	-35,334
9				職員費（市場）	市場事業の職員費	—	155,477	154,941	-536

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R4年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和4年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10				繰出金	公債償還特別会計への繰出金（市場施設大規模緊急改良及び市場設備一般改良に伴い起債した市債の償還金）	—	68,150	118,158	50,008
11				予備費	予備費	—	2,000	2,000	0